

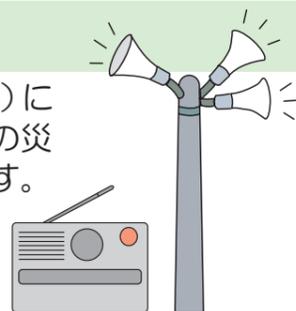
# 防災情報

## 白馬村防災行政無線

白馬村防災行政無線は、毎日、朝(6:30)・昼(12:30)・夜(20:55)に村からのお知らせ等を放送しています。また、台風や風水害、地震などの災害発生時には、被害状況や避難先などの重要な情報を皆さんに配信します。

防災行政無線の内容は、村で販売している『戸別受信機』を購入することにより、室内でも聞くことが可能です。

詳しくは、白馬村役場総務課までお問い合わせください。



## 気象情報の入手先



長野地方気象台

検索

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報、地震情報、噴火警報・予報、天気予報など



長野県 河川砂防情報ステーション

検索

長野県の気象警報・注意報、土砂災害警戒情報、雨量、河川の水位など



国土交通省 川の防災情報

検索

雨量や水位など、河川に関するさまざまな防災情報



## 防災関係機関連絡先一覧

名称	電話番号	名称	電話番号
村役場		学校など	
白馬村役場	0261-72-5000	白馬中学校	0261-72-2026
消防		白馬高等学校	0261-72-2034
北アルプス広域消防本部	0261-22-0119	しろうま保育園	0261-72-3088
北アルプス広域北部消防署	0261-72-0119	白馬幼稚園	0261-72-7722
警察		白馬村子育て支援ルーム	0261-72-3025
大町警察署	0261-22-0110	保育施設 ファミリアはくば	0261-85-4958
白馬村交番	0261-72-2009	プレスクール&ラーニングセンター MaiMai	0261-85-0156
郵便局		医療機関	
白馬郵便局	0261-72-2320	横沢医院	0261-72-2008
神城郵便局	0261-75-2800	栗田医院	0261-72-2428
ライフライン		神城醫院	0261-75-7050
㈱NTT東日本 関信越 長野支店	026-225-4404	しんたにクリニック	0261-75-4177
中部電力(株)安曇野営業所 大町サービスステーション	0261-74-6998	北アルプス医療センター白馬診療所	0261-75-4123
要配慮者利用施設		学校など	
白馬村役場 上下水道課	0261-85-0714	デイサービスセンター「岳の湯」	0261-85-0201
プロパンガス		特別養護老人ホーム白嶺	0261-75-4010
学校など		白馬メディア	0261-75-7100
白馬南小学校	0261-75-2010	デイサービスセンターおらの家白馬	0261-85-2970
白馬北小学校	0261-72-2029	クロスロード白馬	0261-72-6073

# 白馬村 防災マップ

保存版



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・  
シュヴァルブラン・  
村男Ⅲ世



地震

洪水

更新

『もしも』の時のために…  
日ごろから家族で確認を!



避難生活

土砂災害

更新

白馬村総務課

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村大字北城7025  
TEL.0261-72-5000(代表) FAX.0261-72-7001

<http://www.vill.hakuba.lg.jp/>

# 我が家の防災メモ

平成26年11月22日22時8分ごろ、白馬村を震源とする長野県神城断層地震（M6.7）が発生しました。村内は震度5強の強い揺れとなり、堀之内地区と三日市場地区を中心に広範囲にわたって大きな被害を受けました。



長野県神城断層地震（平成26年）の被害の様子

しかしながら、村民みなさんによる迅速な安否確認や、的確な救助活動が行われた結果、地震による死者を出すことはありませんでした。これは、日ごろから地域で築き上げた住民の絆があったからこそ可能であったといえます。

また、平成7年7月11日の豪雨による浸水や土砂災害の被害を受けるなど、多数の自然災害の危険性を持っています。

この防災マップは、地震・洪水・土砂災害といった自然災害の危険性を改めて再認識するとともに、日ごろからできる準備等をまとめ、いざというときにあわてずに行動できるよう作成したものです。家族や地域で共有するとともに、避難訓練などに活用しましょう。

## 目次

目次	1
わが家の防災メモ	2
地震が発生したら	3-4
揺れやすさマップ	5-6
液状化マップ	7-8
地域の危険度マップ／防災アプリ・登録制メール	9-10
洪水	11
土砂災害	12
避難のタイミング	13
避難時の注意事項	14
ハザードマップの見方	15
避難所リスト	16
洪水・土砂災害ハザードマップ	17-46
防災情報	47

## 災害時の連絡手段

災害時は電話がつながりにくくなります。災害が発生したとき「誰に連絡をするか」「どのような連絡方法があるか」など、家族みんなで確認をしておきましょう。

### 登録 NTT災害用伝言ダイヤル「171」 / web「171」

災害用伝言ダイヤル171は、大規模な災害発生時に開設される電話サービスで、被災地とその他の地域をつなぐ「声の伝言板」です。web171は、インターネットを使用して被災地の方の安否確認を行うサービスです。登録された伝言内容は、災害用伝言ダイヤル171と相互に確認ができます。



### 登録 災害用伝言板

災害時に各携帯電話会社が「災害用伝言板」を緊急開設します。携帯電話やスマートフォンで安否情報の登録や確認ができます。

### 確認 J-anpi (ジェイ安否)

電話番号、または氏名で、災害用伝言板、報道機関、企業団体が提供する安否情報を一括検索することができます。



### 公衆電話

災害時、通常の電話に比べ、公衆電話は比較的つながりやすいといわれています。

伝言ダイヤル・伝言板 体験利用提供日 毎月1日・15日 / 1月1日～3日 / 1月15日～21日 (防災とボランティア週間) / 8月30日～9月5日 (防災週間)

	氏名	携帯番号	住所	会社・学校の電話番号
緊急連絡先 (家族や親戚、 ご近所の 連絡先)				

避難先 (避難所、 集合場所 など)	メモ
-----------------------------	----

# 地震が発生したら

## 地震発生!

まず第一に、身の安全の確保!



丈夫な机の下等に隠れ、落下物から頭を保護する。



頭を保護しつつ、固定していない家具や窓から離れる。



窓ガラスの破片、看板などの落下物から頭を保護する。



ブロック塀などの倒壊の危険があるものからすぐに離れる。

緊急地震速報 13Pへ

身の安全を確保しつつ早急に行いたい行動



戸や窓を開放し、出口を確保する。建物が変形すると戸や窓が開かなくなる恐れがある。

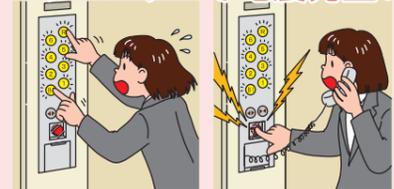


火を使用していたらすぐに消して、火災の発生を防ぐ。



あわてて外に飛び出さない。会社や学校、公共施設等では非常口に殺到しない。

エレベーターで地震発生!



全ての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる。停電等でドアが開かない場合は、非常ボタンを押し指示を待つ。

揺れがおさまったら

あわてず、落ち着いて行動



割れたガラス等でけがをしないよう、靴やスリッパを履く。



出火したら、あわてずに初期消火。隣近所で協力しバケツリレー等で延焼防止に努める。



車は道路左側に止めてエンジンを切る。車から離れる時はキーをつけたままで、ドアロックはしない。

正しい情報を聞く!



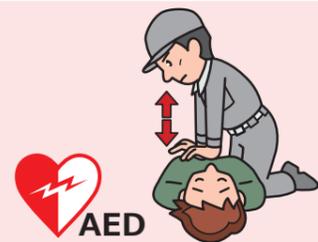
テレビやラジオ、村役場・消防・警察等を通じて信頼できる情報を聞き、周囲の人と共有する。

身の安全を確保したら

隣近所と協力して救助活動



近所に住む一人暮らしの高齢者や要配慮者のいる世帯等に対して、積極的に安否確認をしましょう。



救急隊の到着までに適切な処置を行うことで、生存率は大きく上がります。周囲の人と協力して人命救助にあたりましょう。



がれき等の下敷きになった人を発見したら、一人で無理をせず、周囲の人に応援を呼びかけて救助しましょう。

自分の安否を伝えよう!



災害用伝言ダイヤル「171」2Pへ

通信環境が不安定な状況では、災害用伝言ダイヤルや、あらかじめ決めておいた避難所で安否確認をしましょう。

避難生活に備える

自宅の被害状況を確認

自宅が全壊。あるいは全壊は免れたが、柱や壁が損傷して、余震が起きれば家が崩れそうで安心して居住できない状態。



避難所での避難生活

避難所は共同生活の場所です。ルールを守ってお互いに協力し、助け合いながら生活しましょう。

自宅での避難生活

自宅での避難生活には、日ごろからの備蓄準備と、自宅の耐震化が必要です。



耐震化 8Pへ

非常持出品・備蓄品 準備ができたなら☑しよう!

大規模な地震が起これば、ライフラインの被害や物資供給の停滞が想定されます。家族で「非常時に欠かせないものは何か」を話し合い、いざというときに備えて準備をしておきましょう。

※水や食料は最低3日分、できれば7日分を備蓄しましょう。

非常持出袋 (避難時に持ち出すもので、最低限必要なもの)

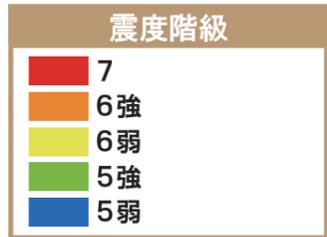
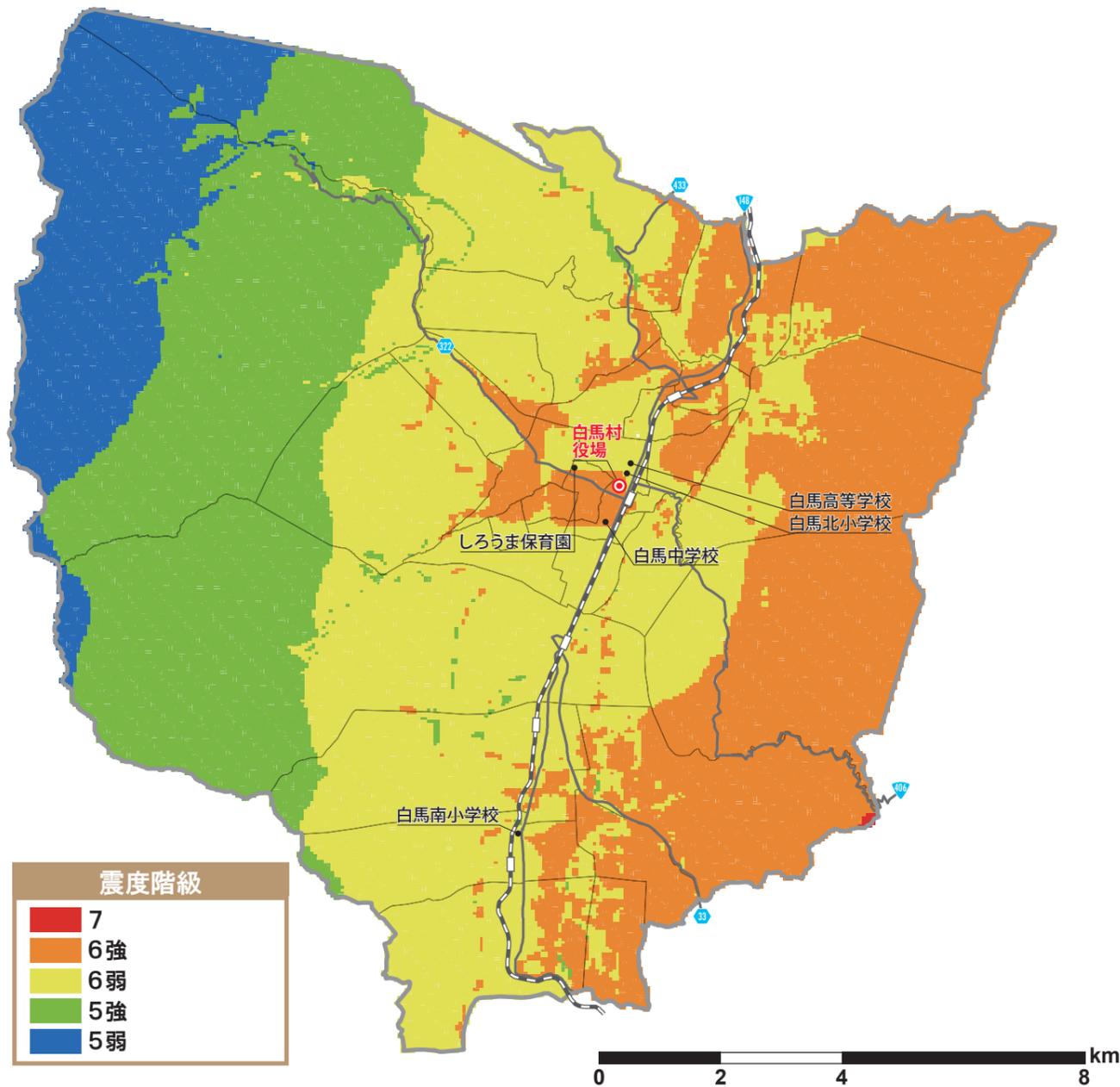
- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 (応急用に1人1ℓ程度)     | <input type="checkbox"/> 食料 (調理不要のもの3食) |
| <input type="checkbox"/> ローソク                 | <input type="checkbox"/> マッチ・ライター       |
| <input type="checkbox"/> 洗面用具                 | <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品         |
| <input type="checkbox"/> 生理用品                 | <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器       |
| <input type="checkbox"/> お薬手帳                 | <input type="checkbox"/> 携帯トイレ          |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池                | <input type="checkbox"/> ラップ            |
| <input type="checkbox"/> 寝袋                   | <input type="checkbox"/> 上着・防寒着         |
| <input type="checkbox"/> 下着                   | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー      |
| <input type="checkbox"/> タオル                  | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー      |
| <input type="checkbox"/> 絆創膏・包帯・傷薬            | <input type="checkbox"/> 常備薬 (鎮痛剤・胃腸薬等) |
| <input type="checkbox"/> 消毒薬                  | <input type="checkbox"/> 懐中電灯           |
| <input type="checkbox"/> スリッパ                 | <input type="checkbox"/> 軍手・手袋          |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ                | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん    |
| <input type="checkbox"/> 感染症対策品 (マスク・手指消毒薬など) | <input type="checkbox"/> ステッキ等のさぐり棒     |
| <input type="checkbox"/> 印鑑                   | <input type="checkbox"/> マイナンバーカード      |
| <input type="checkbox"/> 現金 (小銭含む)            | <input type="checkbox"/> 預金通帳・証券類       |
| <input type="checkbox"/> 身分証明書                | <input type="checkbox"/> 健康保険証          |
- お年寄りがいる場合
- |                               |                              |
|-------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 常備薬  | <input type="checkbox"/> 流動食 |
| <input type="checkbox"/> 介護用品 |                              |
- 赤ちゃんがいる場合
- |                                     |                                       |                                |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 母子手帳       | <input type="checkbox"/> おんぶひも        | <input type="checkbox"/> 液体ミルク |
| <input type="checkbox"/> 離乳食        | <input type="checkbox"/> 哺乳瓶・燃料・湯沸かし器 |                                |
| <input type="checkbox"/> 紙おむつ・おしりふき |                                       |                                |
- ペットがいる場合
- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ペットフード |  |
| <input type="checkbox"/> トイレシート |  |
- ※各人の状況に応じてご準備ください

備蓄品 (救援物資が届くまで自給自足するためのもの)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 (応急用に1人3ℓ程度) | <input type="checkbox"/> 食料 (アレルギー対応食等) |
| <input type="checkbox"/> お薬手帳             | <input type="checkbox"/> ラップ            |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ            | <input type="checkbox"/> 寝袋             |
| <input type="checkbox"/> 予備電池             | <input type="checkbox"/> 非常用給水袋         |
| <input type="checkbox"/> タオル              | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー      |
| <input type="checkbox"/> 非常用給水袋           | <input type="checkbox"/> バスタオル          |
| <input type="checkbox"/> 衣類 (防寒着・下着など)    | <input type="checkbox"/> 食器・やかん・鍋       |
| <input type="checkbox"/> 新聞紙              | <input type="checkbox"/> 燃料 (ボンベや固形燃料)  |
| <input type="checkbox"/> 安全ピン             | <input type="checkbox"/> カイロ など         |

# 揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは、白馬村に最も大きな被害が予測される糸魚川ー静岡構造線断層帯(全体)を震源とする地震(マグニチュード8.5)が発生した場合の予測震度を50mメッシュ単位で色分け表示したものです。予測される震度は、村全域で震度5弱から7となります。



## 地盤による揺れの大きさの違い

### 《震源からの距離によって変わる》

- 震源から地表付近までの距離が近いほど揺れは大きくなる傾向があります

### 《地盤の硬さによって変わる》

- 硬い地盤では揺れにくく、軟弱地盤では揺れやすい傾向があります



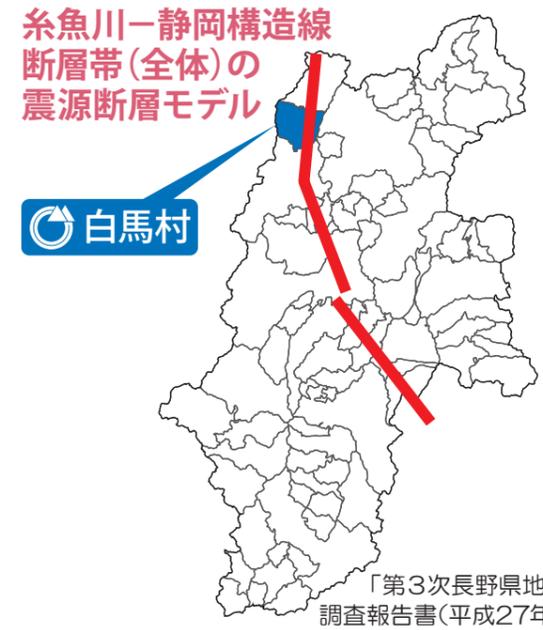
## 想定地震

平成7年の兵庫県南部地震以降、平成16年の新潟県中越地震、平成19年の新潟県中越沖地震のほか全国で大規模な地震が発生しています。さらに、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、これまでの想定をはるかに超え、甚大な被害を広域にもたらしました。

長野県では、このような大規模地震に備えるため、県内に大きな被害を発生させる地震を対象に被害想定調査を行いました。

この調査では、糸魚川ー静岡構造線断層帯を含む8つの活断層型地震と想定東海地震、南海トラフ巨大地震を想定しています。

これらの地震のうち、白馬村に最も大きな影響を及ぼす地震は、糸魚川ー静岡構造線断層帯の全体が揺れた場合の地震で、ごく一部地域ではありますが、最大震度7が想定されています。



「第3次長野県地震被害想定調査報告書(平成27年3月)」参照

## 震度階級

出典：気象庁震度階級関連解説表

震度階級とは、地震の強さの程度を示すものです。地震の揺れにより、どのような被害が発生するかを示しています。また、最大震度5弱以上の揺れが予想される場合、**気象庁から緊急地震速報が発表**されます。

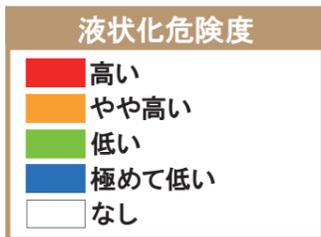
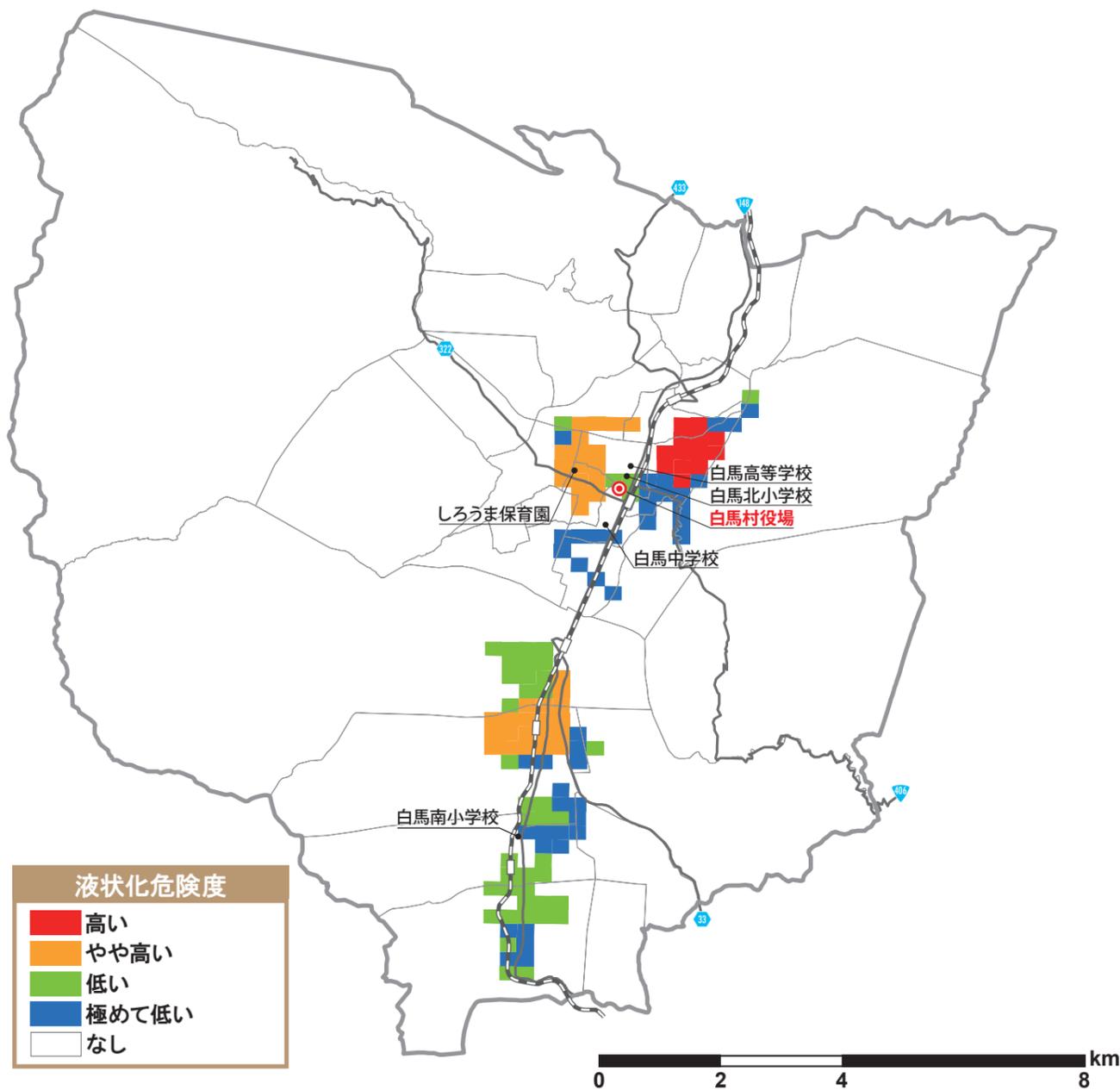
[緊急地震速報 13Pへ](#)

震度階級	人の行動・屋内の状況	木造建物(住宅、耐震性が低い)※
7	● 立っていることができず、はわないと動くことができない	● 傾くものや、倒れるものが6強よりさらに多くなる
6強	● 揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることがある	● 壁などに大きなひび割れ、亀裂が入るものが多くなる ● 傾くものや、倒れるものが多くなる
6弱	● 立っていることが困難になる ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある ● ドアが開かなくなることがある	● 壁などのひび割れ、亀裂が多くなる ● 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある
5強	● 固定していない家具が、倒れることがある	● 壁などにひび割れ、亀裂がみられることがある
5弱	● 棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある	● 壁などに軽微なひび割れ、亀裂がみられることがある

※耐震性が低い木造建物(住宅)とは、概ね昭和56年以前に建てられた建物を指します。しかし、建物の構造の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高さ低さが決まるものではありません。耐震性は耐震診断により把握できます。白馬村では**木造住宅の耐震診断・耐震改修補助事業**を実施しています。

# 液状化マップ

液状化マップとは、想定地震である糸魚川ー静岡構造線断層帯(全体)を震源とする地震(マグニチュード8.5)が発生した場合の液状化危険度を250mメッシュ単位で色分け表示したものです。

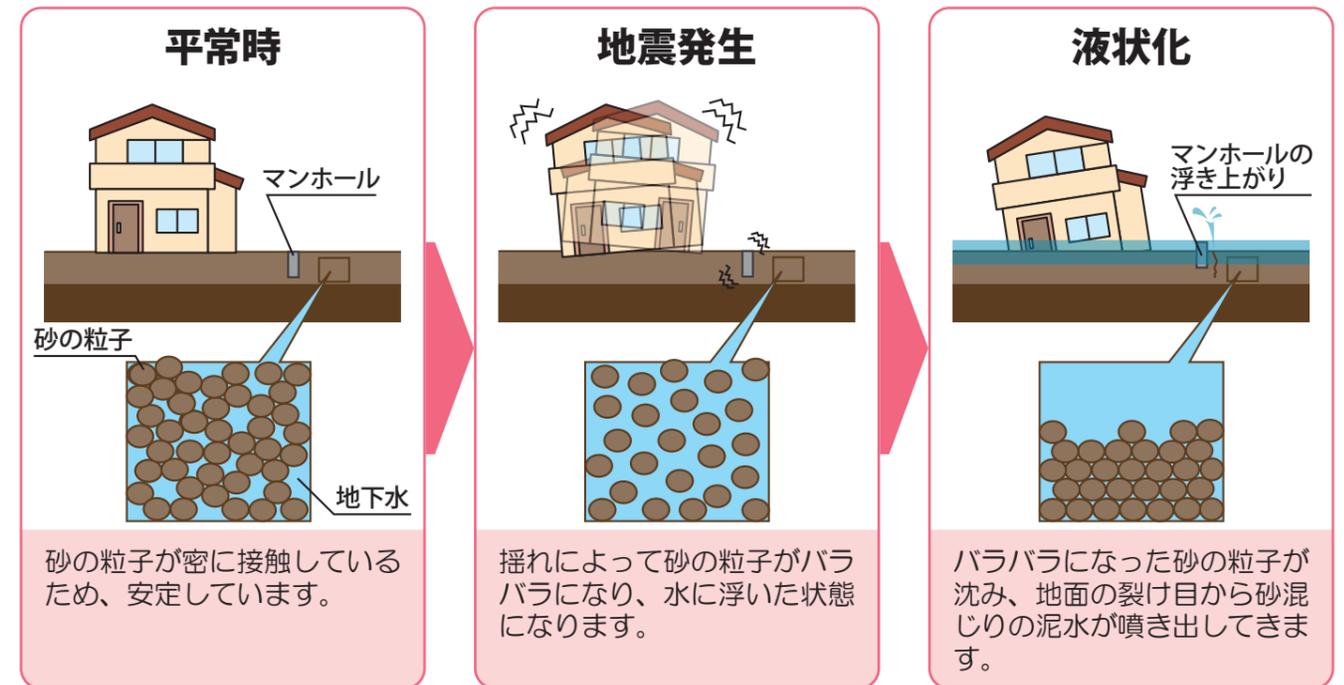


## 液状化とは?

液状化は地震の強い揺れによって、地盤が一時的に泥水のような現象です。液状化は、次の3つの条件がそろった場合に発生します。

砂地盤	地下水	揺れ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 砂を多く含み、緩く堆積した地盤の場合</li> <li>● 砂粒子同士の隙間が大きいほど液状化しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地下水位が地表から10m以内にある場合</li> <li>● 地下水位が浅いほど液状化しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 震度5弱以上の揺れの場合</li> <li>● 揺れの時間が長いほど被害が大きくなる傾向がある</li> </ul>

## 液状化の仕組み



## 地盤の液状化で起こる被害

### 道路の陥没



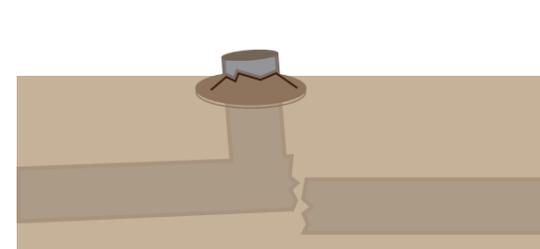
盛土地や埋立地では、道路が陥没する場合があります。

### 建物の沈下・傾斜



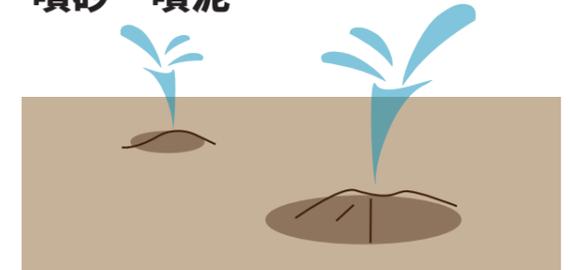
地盤が液体状になるため、その地盤の上にある建物は支えを失って、沈下や傾斜が生じることがあります。

### 地中構造物の浮き上がり



地下タンク・埋設管・マンホール等の軽い地中の構造物が浮き上がることがあります。

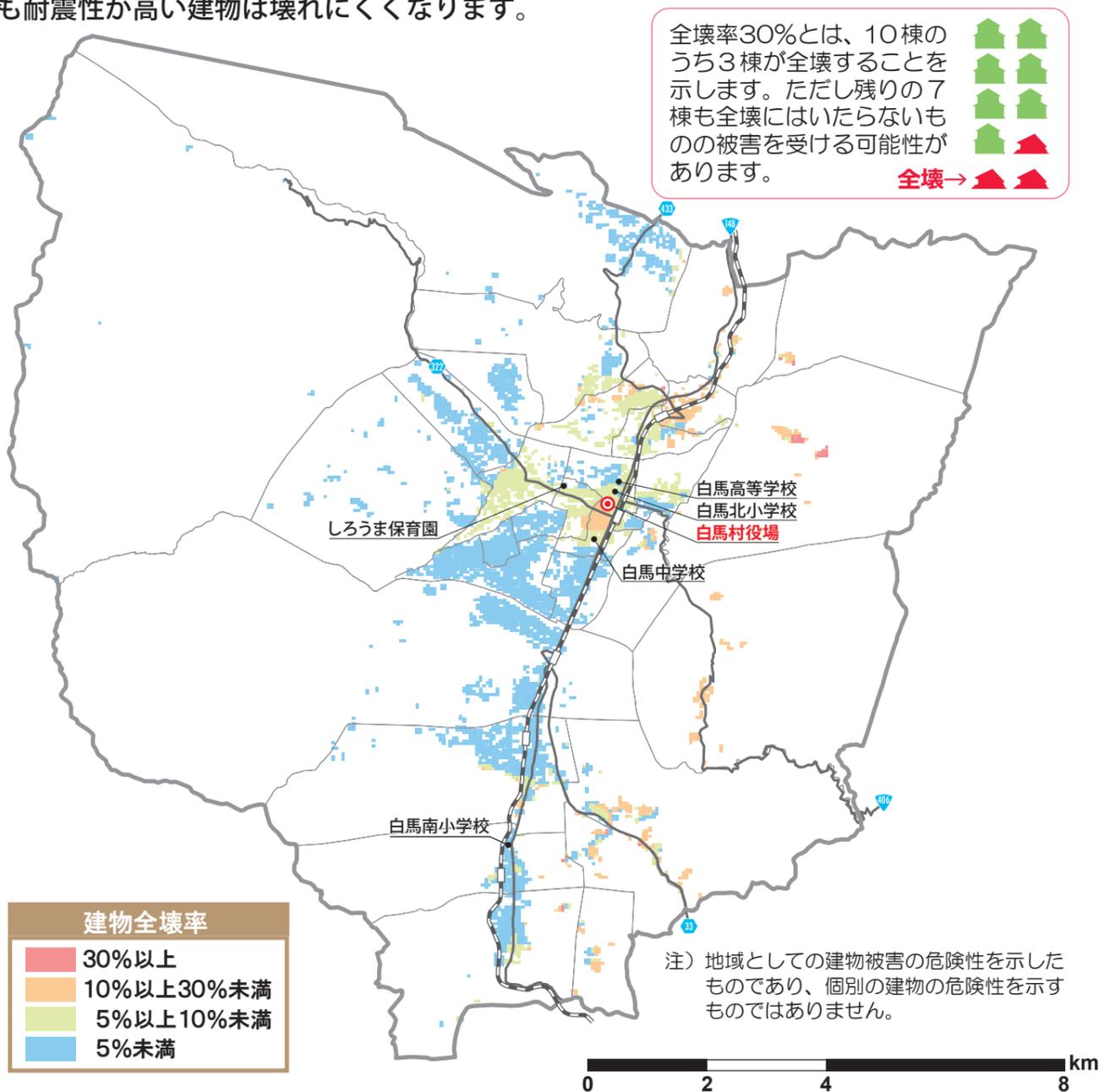
### 噴砂・噴泥



砂・泥と混ざり合った地下水が上昇し、ときには噴水状に地面から噴きあがることがあります。

# 地域の危険度マップ

地域の危険度マップとは、想定地震である糸魚川-静岡構造線断層帯(全体)を震源とする地震(マグニチュード8.5)が発生した場合の建物全壊率を50mメッシュ単位で色分け表示したものです。全壊率が低い地域でも老朽化した建物は壊れる可能性があります。逆に全壊率が高い地域でも耐震性が高い建物は壊れにくくなります。



# 防災アプリ・登録制メール

## 白馬村防災ナビ

### スマートフォン向け防災アプリ「白馬村防災ナビ」の機能

- 現在地周辺の指定避難所、指定緊急避難場所、AED設置箇所を自動表示
- 現在地から上記場所までの誘導
- 充実したハザードマップ表示
- ARカメラ機能と避難コンパス
- 安否登録と安否確認
- 避難情報や地震情報等の防災情報をプッシュ通知
- 土砂災害の危険性が高まっているエリアにいるユーザーに対し、注意喚起をプッシュ通知

※一部の機能は災害時に電波が通じないオフライン状況でも使用が可能です。また、市外でも利用できます

### ダウンロード

iPhone (iOS端末) の場合は、AppStoreで、Android端末の場合はGoogle Playで『白馬村防災ナビ』と検索するか、もしくは下記のリンク先より各ダウンロードページへ移動できます。



Android用



iOS用

## 登録制配信メールサービス

### ■ 配信新規登録の方法 登録用メールアドレス: bousai.hakuba-vil@raidan2.ktaiwork.jp

登録用メールアドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信します。または、下のQRコードを読み込んでそのまま送信します。



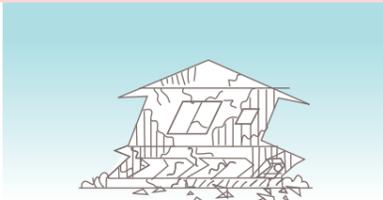
返信されたメールに記載されたアドレス(URL)へインターネット接続します。

入力内容を確認のうえ、登録を行ってください。

内容を確認して登録実行してください。しばらくすると登録完了メールが届きます。

## 全壊とは?

住家その居住のための基本的機能を失った状態、すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、または住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難な状態をいいます。



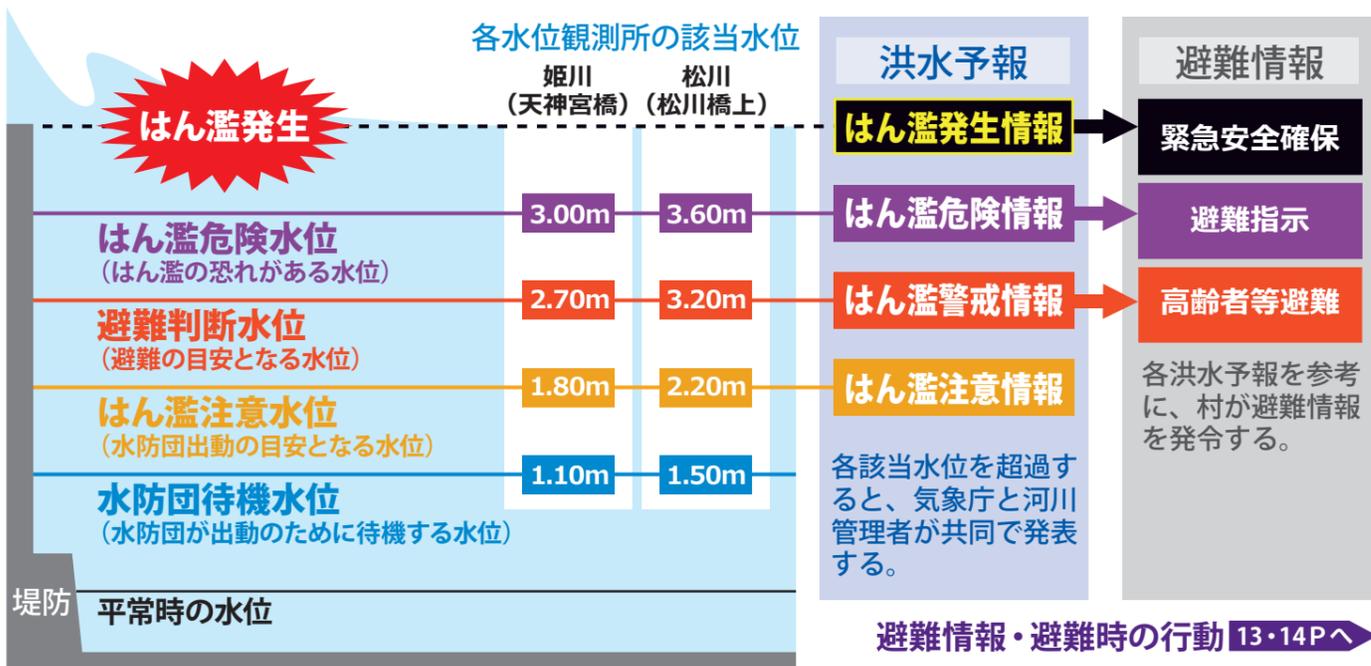
住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している状態。



柱・梁・壁が破壊され、居住空間が欠損している状態。

# 洪水

## 河川水位情報と発令基準

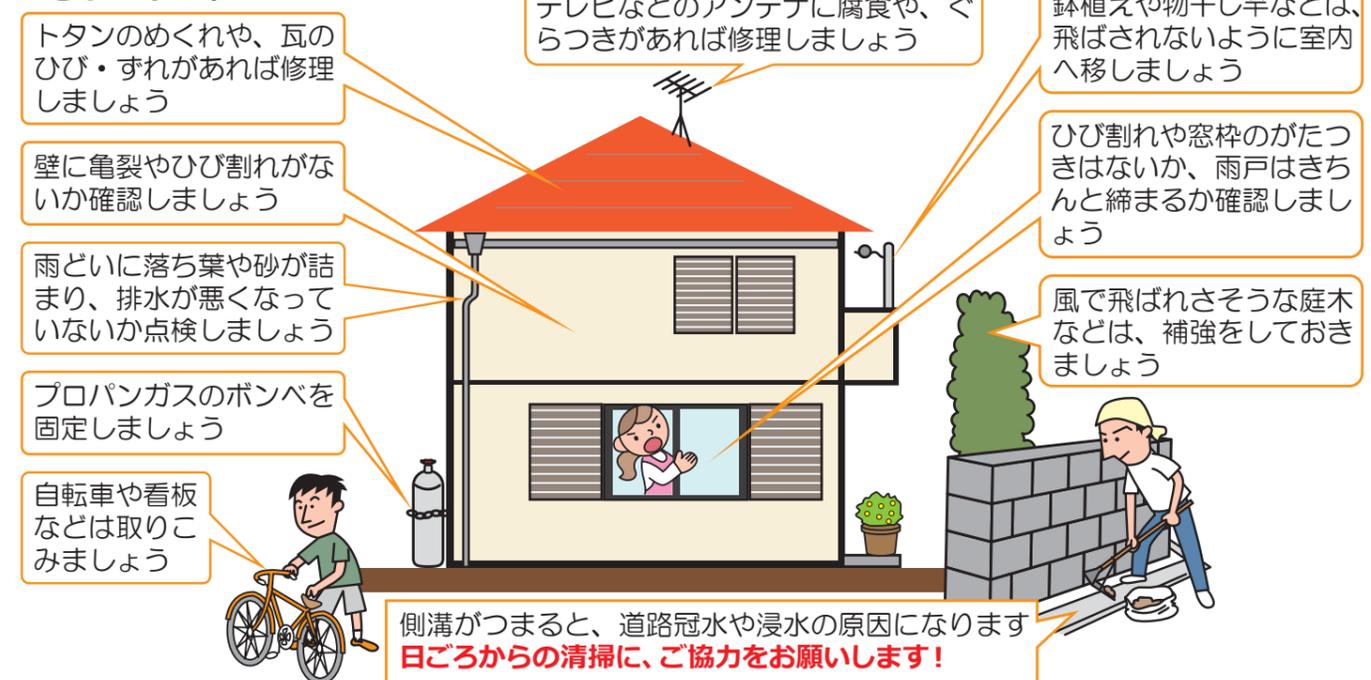


## 村が洪水に係る避難情報を発令する判断基準

緊急安全確保	・はん濫発生情報が発表された場合
避難指示	・はん濫危険情報が発表され、今後も水位上昇が予想される場合
高齢者等避難	・はん濫警戒情報が発表され、今後ははん濫危険水位に達すると予想される場合

## 家の周囲の安全対策

被害を最小限にとどめるために、日ごろから家屋などの周りを点検し、万全の対策を立てておきましょう。



# 土砂災害

## 土砂災害の特徴と前兆現象

**かけ崩れ** 地面にしみ込んだ水分によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象

前兆現象  
 ● かけに割れ目が見える  
 ● かけから小石がパラパラと落ちる  
 ● 湧水が濁りだす ● 地鳴りがする

**土石流** 谷や斜面に貯まった土・石・砂等が、雨水と一緒に流れてくる現象

前兆現象  
 ● 川の水が異常に濁る  
 ● 雨が降り続けているのに川の水位が下がる  
 ● 腐った土の臭いがする ● 山鳴りがする

**地すべり** 比較的緩やかな斜面において、地下水の影響等により、地中の粘土層などの滑りやすい面がゆっくりと動き出す現象

前兆現象  
 ● 池や沼の水かさが増減する ● 樹木が傾く  
 ● 地面にひび割れができる ● 斜面から水が噴き出す

## 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

長野県が、土砂災害防止法に基づき「土砂災害が発生したときに住民などの生命または身体に危害が生じるおそれのある地域」を指定したものです。

### 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある地域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。

### 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域内で被害等を受けるおそれが特に高い地域です。区域内での開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。

### 《かけ崩れの場合》



## 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった市区町村を特定し、都道府県と気象庁が共同して発表します。いつ土砂災害が発生してもおかしくない非常に危険な状態ですので、気象や雨量、土砂災害危険箇所の状況に注意し、早めに避難してください。土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 村が土砂災害に係る避難情報を発令する判断基準

大雨警報  
 土砂災害警戒情報  
 緊急安全確保

緊急安全確保	・近隣で土砂移動現象、山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等の前兆現象が確認された時 ・土砂災害が発生した時
避難指示	・近隣で溪流付近に斜面崩壊やはらみ、よう壁や道路等にクラックの発生等の前兆現象が確認された時
高齢者等避難	・大雨警報が発表され、近隣で湧水や地下水が濁り始めた、量に変化した等の前兆現象が確認された時 ・土砂災害警戒情報が発表された時

避難情報・避難時の行動 13・14Pへ

# 避難のタイミング

## 避難情報

大雨などにより洪水や土砂災害の危険性が高まると、村から避難に関する情報が発令されます。これらの情報が発令された場合は、適切な避難行動を開始してください。

**【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**

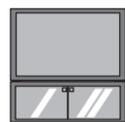
警戒レベル	皆さんがとるべき行動	避難情報など	気象情報など
<b>警戒レベル5</b> 命の危険 直ちに安全確保！	すでに災害が発生、または切迫した状況です。 命の危険があるため、ただちに身の安全を確保しましょう。	<b>緊急安全確保</b> <sup>*1</sup> 【村が発令】	<b>警戒レベル5 相当情報</b> はん濫発生情報 大雨特別警報 など (国土交通省・気象庁・都道府県が発表)
<b>&lt;警戒レベル4までに必ず避難&gt;</b>			
<b>警戒レベル4</b> 危険な場所から 全員避難	速やかに危険な場所から全員避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	<b>避難指示</b> <sup>*2</sup> 【村が発令】	<b>警戒レベル4 相当情報</b> はん濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
<b>警戒レベル3</b> 危険な場所から 高齢者などは避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>高齢者等避難</b> <sup>*3</sup> 【村が発令】	<b>警戒レベル3 相当情報</b> はん濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 など
<b>警戒レベル2</b>	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報 大雨注意報</b> など 【気象庁が発表】	<b>警戒レベル相当情報は、皆さんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。</b>
<b>警戒レベル1</b>	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> 【気象庁が発表】	

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 緊急地震速報

緊急地震速報は、大きな揺れが始まる数秒から数十秒前に、地震が発生することをお知らせするものです。緊急地震速報が発表されたら、まず、頭や身を守る行動をとり、次に、揺れがおさまってから、学校のグラウンドなど、建物の倒壊や危険物の落下の危険性が少ない開けた場所に避難してください。

緊急地震速報が確認できるもの



テレビ



ラジオ



防災行政無線



インターネット



携帯電話  
スマートフォン

# 避難時の注意事項

## 《共通》家を出るその前に！



ブレーカーやガスの元栓を切る。



戸締まりを忘れずに。



非常持出品は両手が使えるようにリュックなどに入れる。



避難先を書いた貼り紙などで、家族・知人に安否を伝える。

## 《共通》要配慮者の避難に協力！



目の不自由な人には、まず声をかけ、腕を貸してゆっくり歩く。



耳の不自由な人には、身振りや筆談などで意思の疎通をする。



車いすの人の階段の昇り降りには、2人以上の協力者が必要。



外国人には、日本語でもいいので声をかけ、孤立させない。

## 《土砂災害》

### 土砂災害、大雨・洪水避難時の服装



履きなれた運動靴  
※長靴は水が入るので履かない！



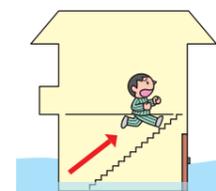
防寒具(上着)



レインコート



がけなどの危険箇所には近寄らない。事前に危険箇所から離れた避難経路を確認する。



浸水が始まっている場合は、無理な避難をせず、丈夫な建物の2階以上に避難する。



歩行可能な水深はひざ下まで(流れがある場合は足首まで)。階段やマンホールなどに注意して、杖などを使って足元を確認しながら避難する。



増水した河川には近づかない。あらかじめ河川から離れた避難経路を確認する。

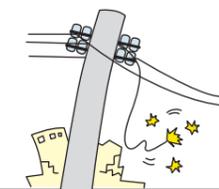
## 《地震》



ヘルメットをかぶり、落下物から頭を保護する。手を怪我しないよう軍手も必要。

## 土砂災害は『発生する前に避難』が原則！

- 平常時に、自宅等が土砂災害警戒区域等に含まれていないか「洪水・土砂災害ハザードマップ」で確認する
- 大雨等で土砂災害の危険を感じたら、早めに警戒区域等の外に避難する。特に、土石流や地すべりの場合は、自宅ごと流される危険があるので早めの避難が大切です **ハザードマップ 17~46P**



感電の恐れがあるので、垂れ下がっている電線に近づかない。

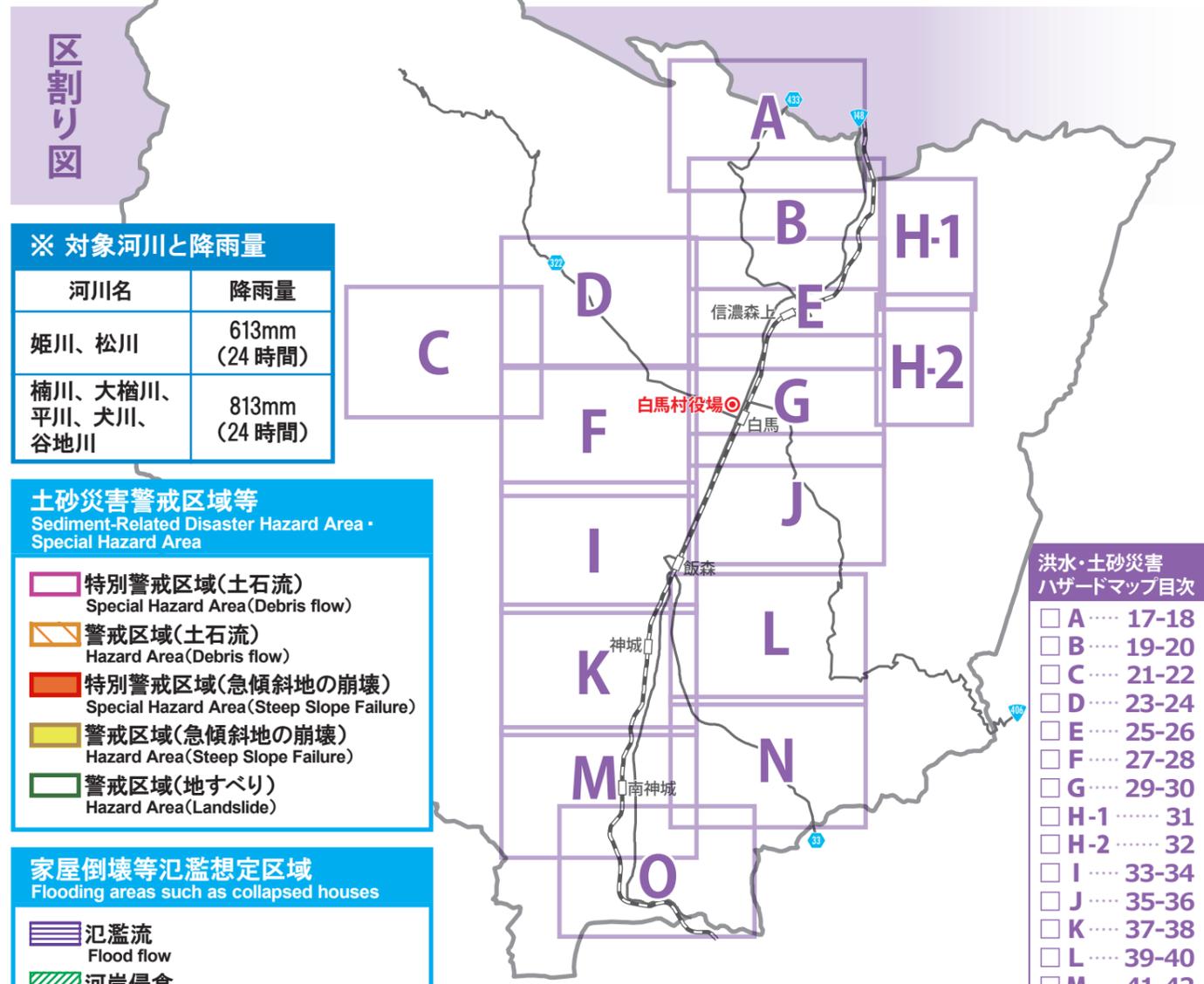


徒歩が原則！  
車は緊急車両優先！  
避難時に他の人の手助けが必要な方以外は徒歩で避難する。

# ハザードマップの見方

洪水ハザードマップは、概ね1000年に1回程度発生することが想定される大雨（想定最大規模）について、姫川や松川などがはん濫した場合に想定される浸水の深さを示したものです\*。土砂災害ハザードマップは、土砂災害防止法に基づき、長野県が指定した土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示したものです。

また、浸水や土砂災害の範囲は、雨の降り方や土地の形状などにより変化するため、区域外でも被害が生じる場合があります。



# 避難所リスト

地域名	指定緊急避難所	指定避難所
内山	スノーハープ	スノーハープ
佐野	スノーハープ	スノーハープ
沢渡	貞麟寺	貞麟寺
三日市場	三日市場公民館	三日市場公民館
堀之内	堀之内コミュニティセンター	堀之内コミュニティセンター
飯田	飯田交流センター	飯田交流センター
飯森	飯森公民館前	飯森体育館
めいてつ	グリーンスポーツ駐車場	ウイング21
深空	ザ・ビッグ白馬店	ウイング21
メルヴェール	ウイング21	ウイング21
みそら野	グリーンスポーツ駐車場	ウイング21
瑞穂	瑞穂生活改善施設	ウイング21
エコランド	旧瑞穂体育館跡地(Hakuba Base Camp)	ウイング21
八方口	八方口公民館	八方口公民館
蕨平	ウイング21	ウイング21
嶺方	ウイング21	ウイング21
白馬町	白馬村役場駐車場 白馬中学校	白馬村多目的研修集会施設 保健福祉ふれあいセンター
大出	大出生活改善施設	大出生活改善施設
八方	八方文化会館	八方文化会館
山麓	八方文化会館	八方文化会館
和田野	八方第5駐車場	八方文化会館
森上	森上基幹センター	北部トレーニングセンター
塩島	塩島基幹センター	北部トレーニングセンター
野平	村営北部グラウンド	北部トレーニングセンター
立の間	村営北部グラウンド	北部トレーニングセンター
通	村営北部グラウンド	北部トレーニングセンター
青鬼	村営北部グラウンド	北部トレーニングセンター
どんぐり	ふれあいの杜駐車場	八方文化会館
新田	新田公民館	岩岳体育館
切久保	切久保公民館	岩岳体育館
落倉	落倉公民館	岩岳体育館

**指定緊急避難所**

災害の危険が切迫した状況において、住民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるものであり、住民の生命の安全確保を目的とする一時的な避難所です。

**指定避難所**

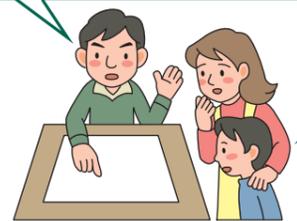
災害の危険から避難した住民等を、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在させたり、災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とする施設(建物)です。



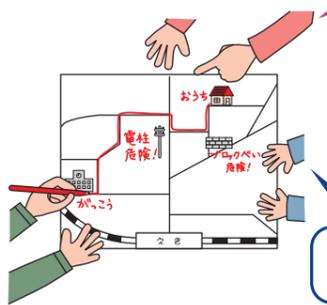
## 災害に備えて家族会議を開こう

- 自宅周辺でどのような災害が起こる可能性があるのか確認しましょう
- 地域の避難所や災害に応じた複数の避難経路を確認しましょう

15ページでマップの見方を確認し、洪水・土砂災害ハザードマップ(17～46ページ)で確認しておこう!

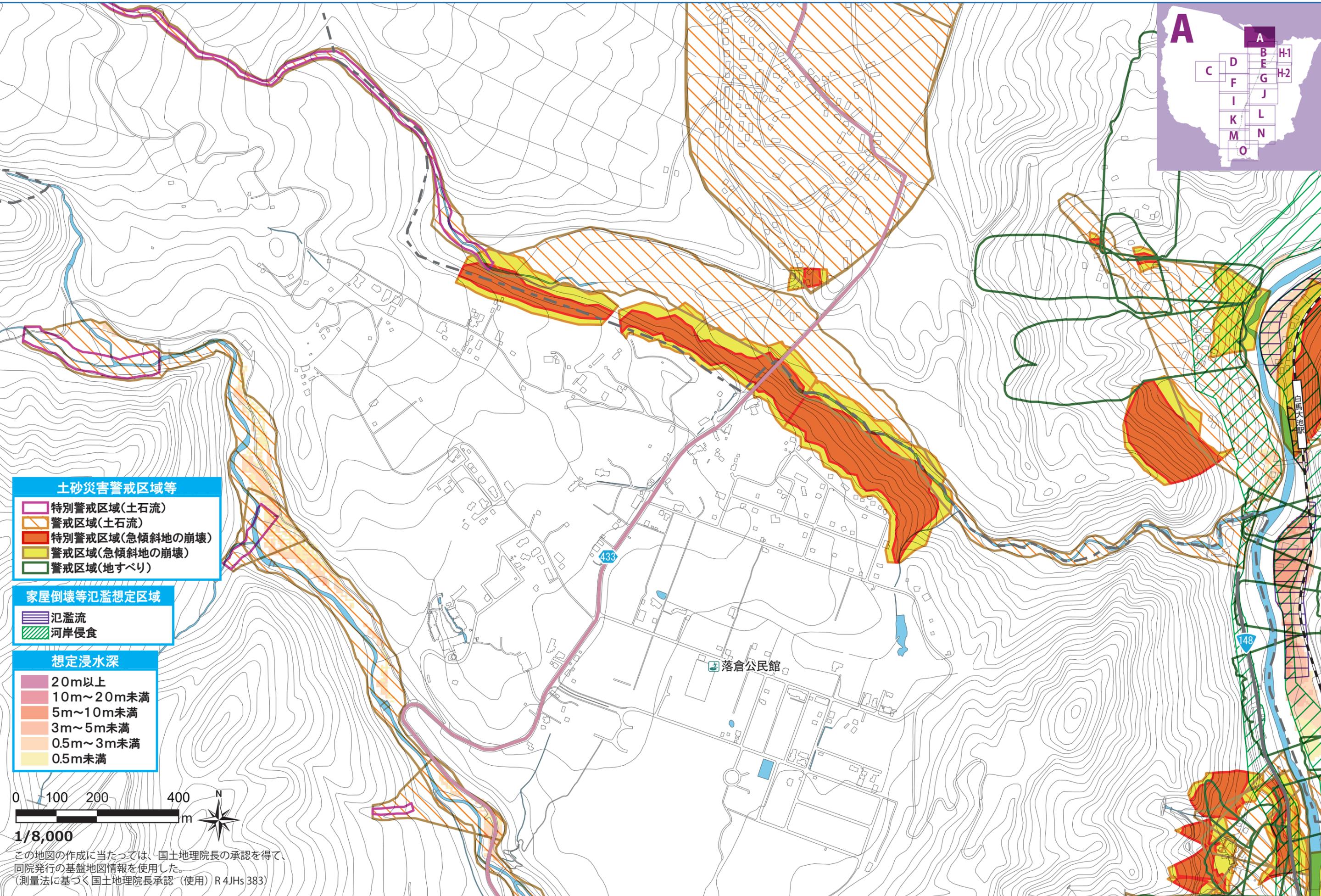
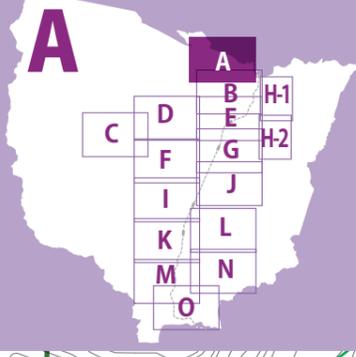


浸水想定区域に含まれていないかな。



土砂災害(特別)警戒区域に含まれていないかしら?

家族がバラバラになったら、どこに集合すればいいの?



**土砂災害警戒区域等**

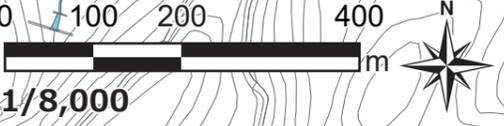
- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

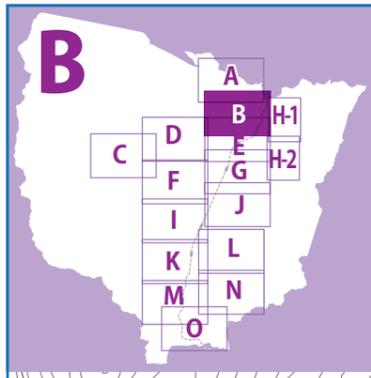
- 氾濫流
- 河岸侵食

**想定浸水深**

- 20m以上
- 10m～20m未満
- 5m～10m未満
- 3m～5m未満
- 0.5m～3m未満
- 0.5m未満



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R4JHs383)



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
 (測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R4JHs 383)

**土砂災害警戒区域等**

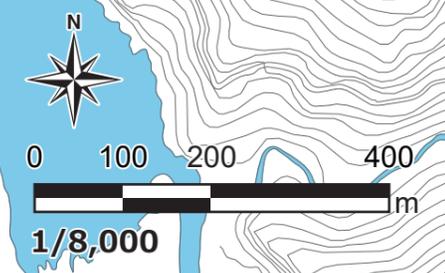
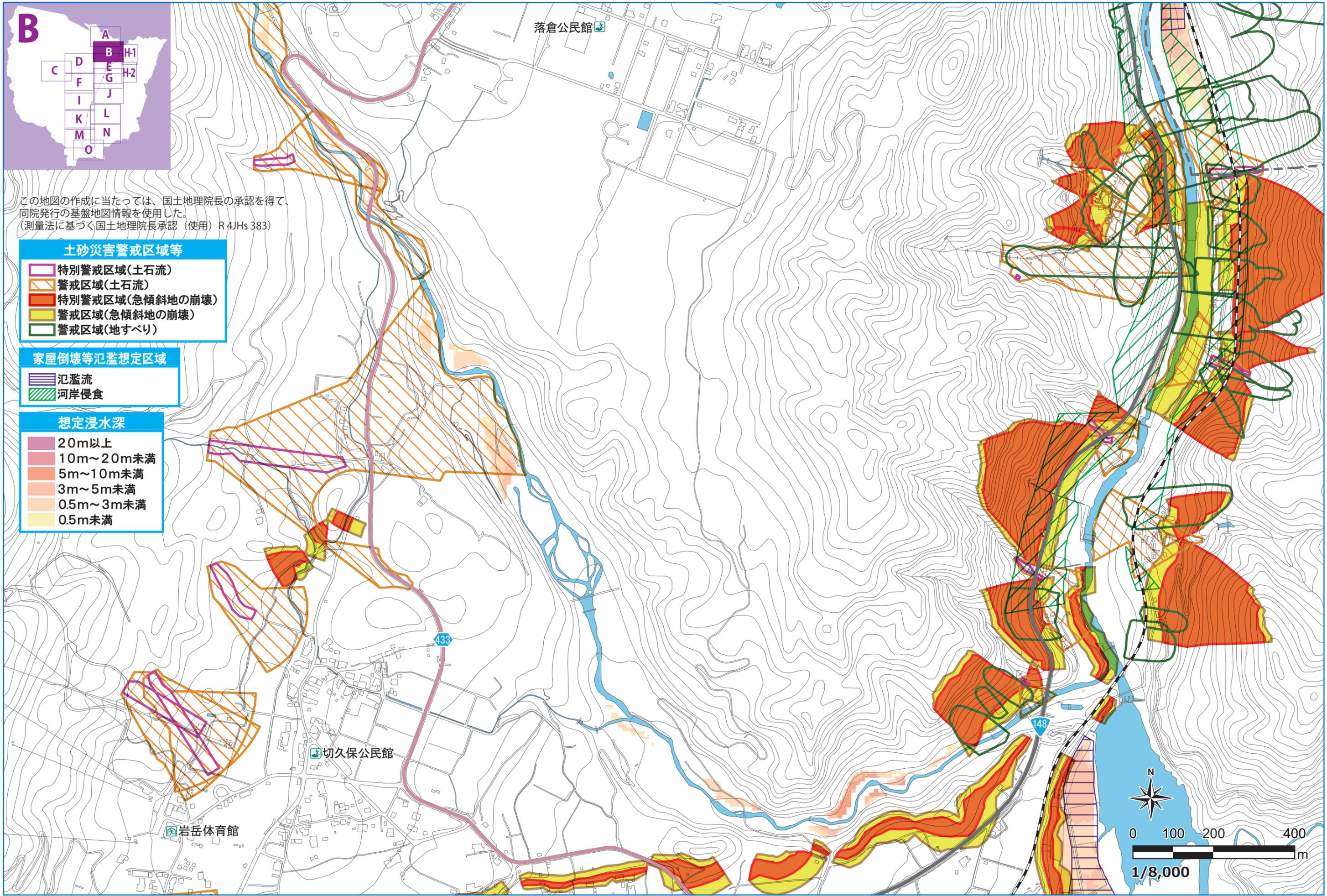
- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

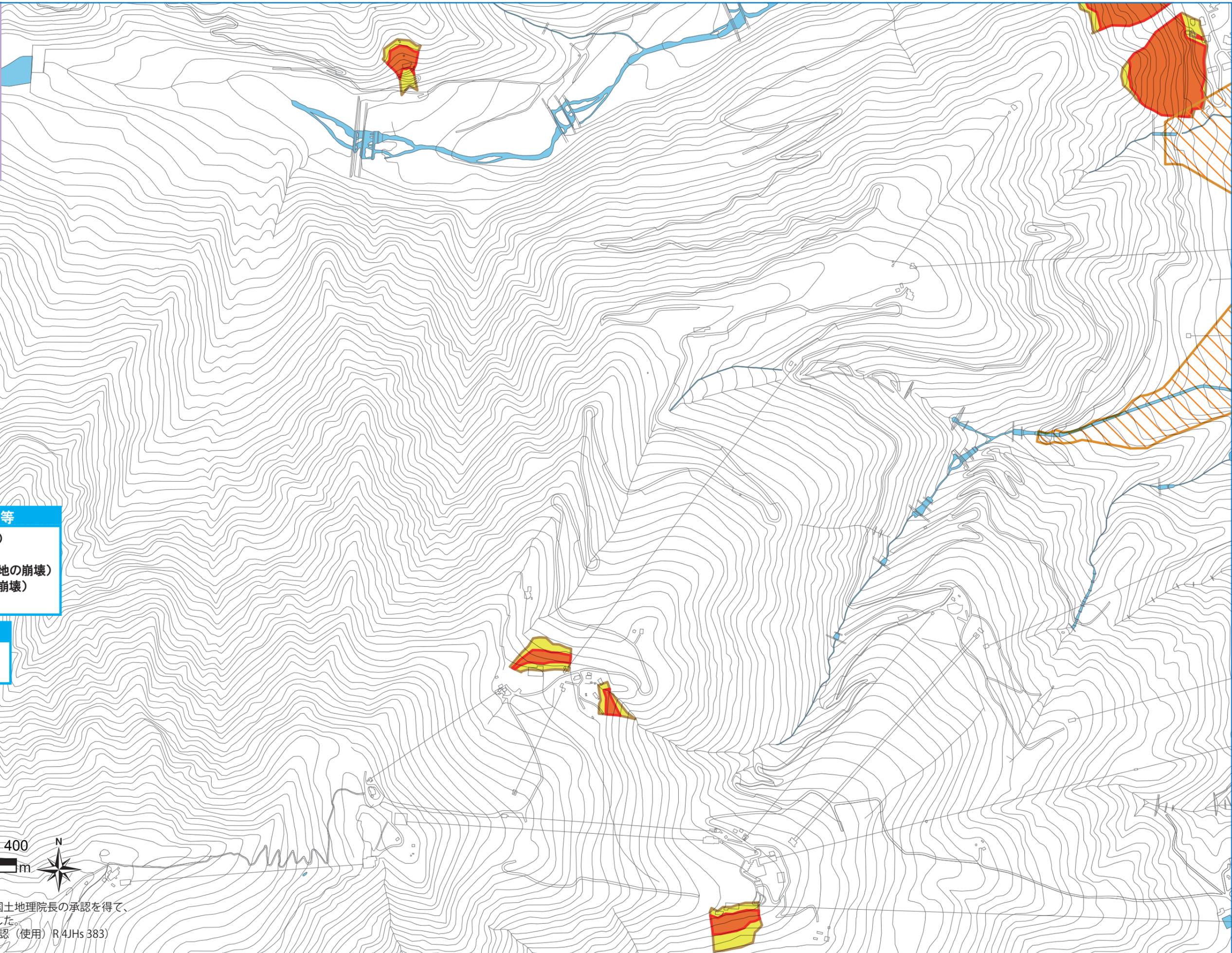
**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 氾濫流
- 河岸侵食

**想定浸水深**

- 20m以上
- 10m~20m未満
- 5m~10m未満
- 3m~5m未満
- 0.5m~3m未満
- 0.5m未満





**土砂災害警戒区域等**

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

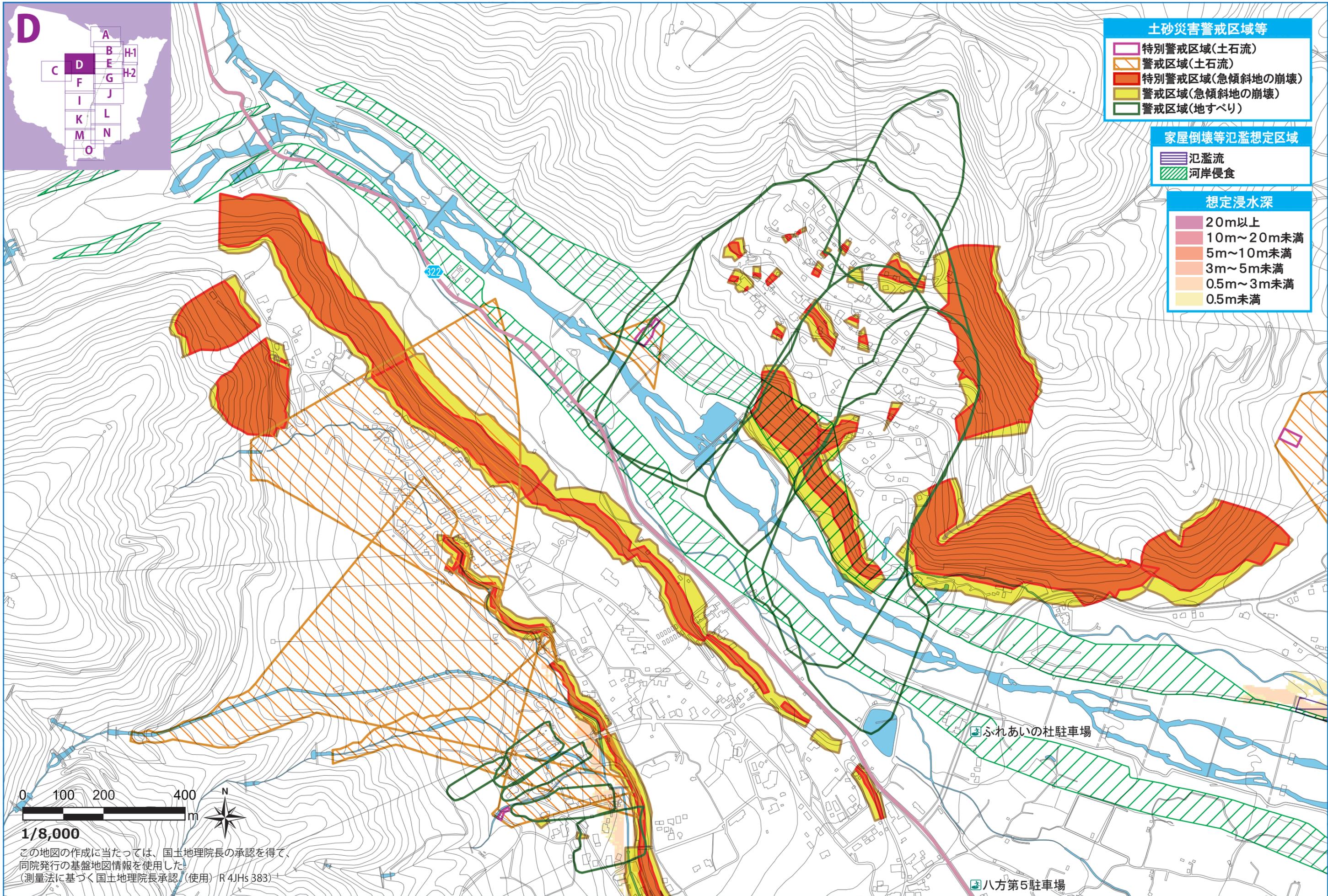
- 氾濫流
- 河岸侵食

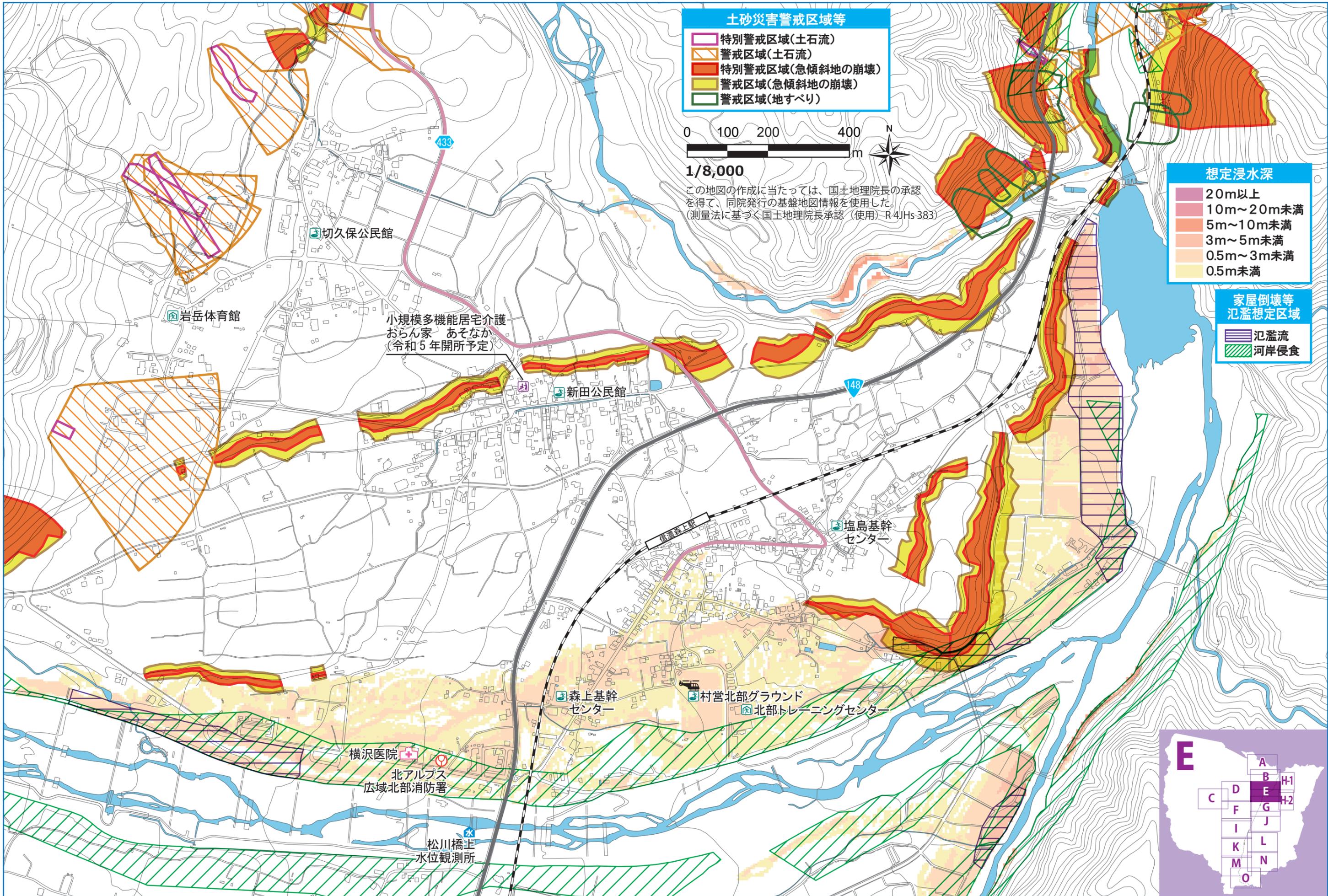
**想定浸水深**

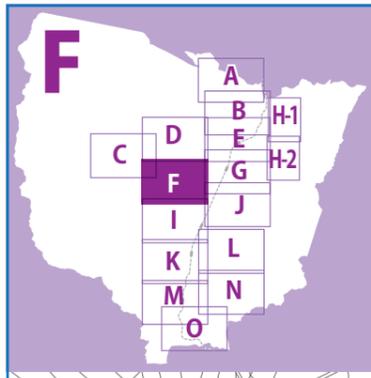
- 20m以上
- 10m～20m未満
- 5m～10m未満
- 3m～5m未満
- 0.5m～3m未満
- 0.5m未満



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
(測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R4JHs 383)



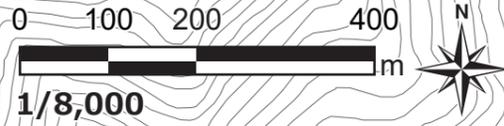




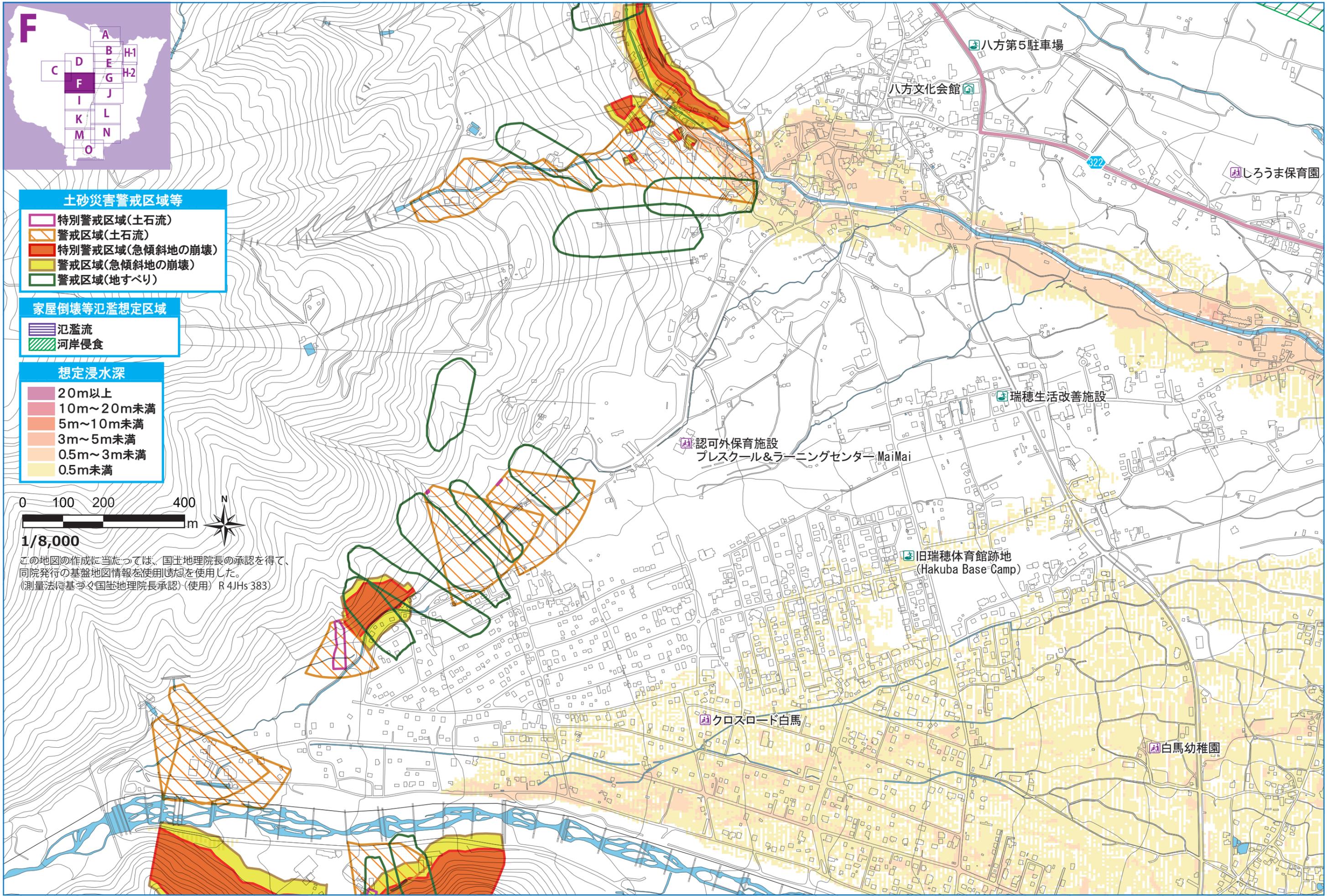
- 土砂災害警戒区域等**
- 特別警戒区域(土石流)
  - 警戒区域(土石流)
  - 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(地すべり)

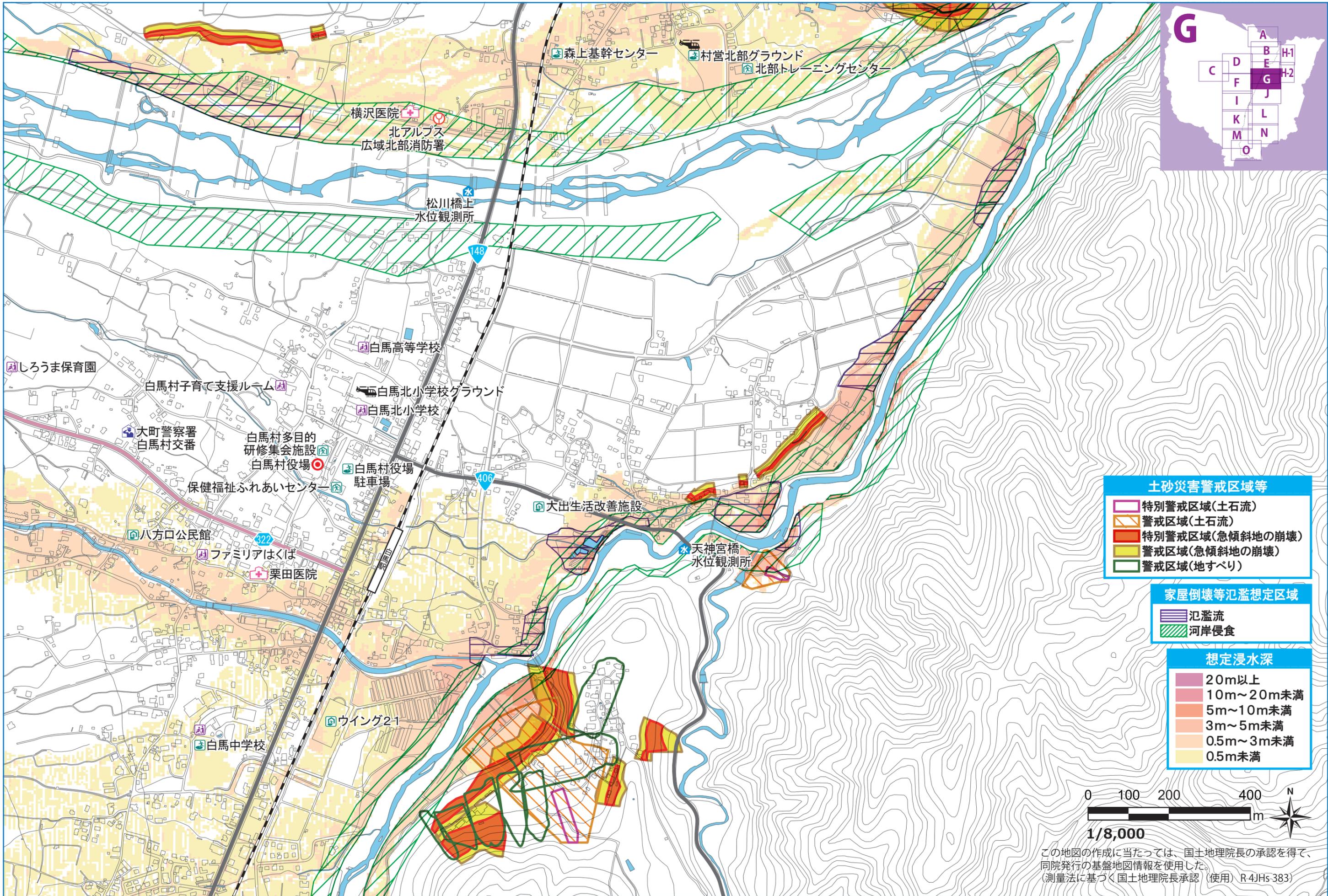
- 家屋倒壊等氾濫想定区域**
- 氾濫流
  - 河岸侵食

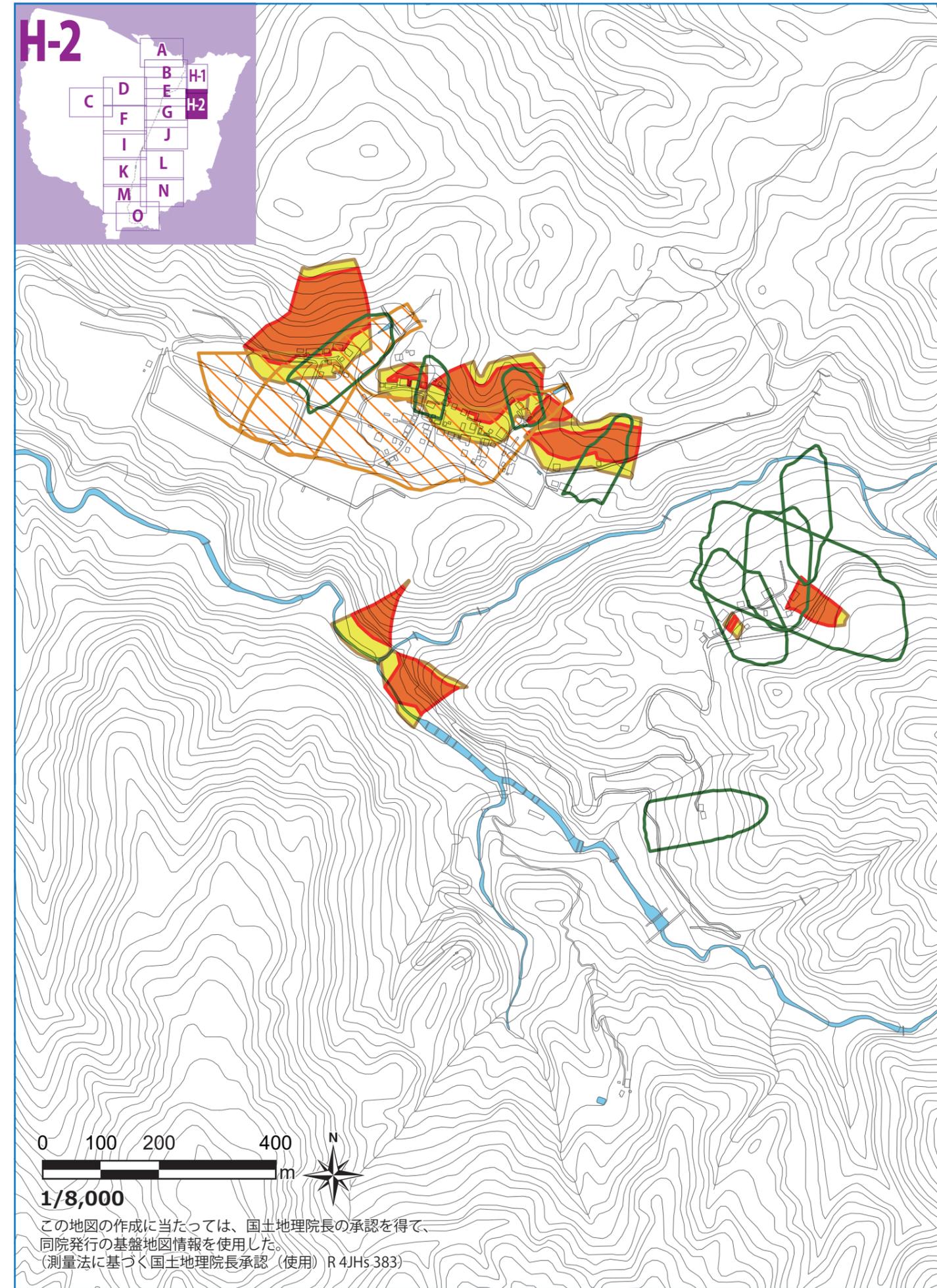
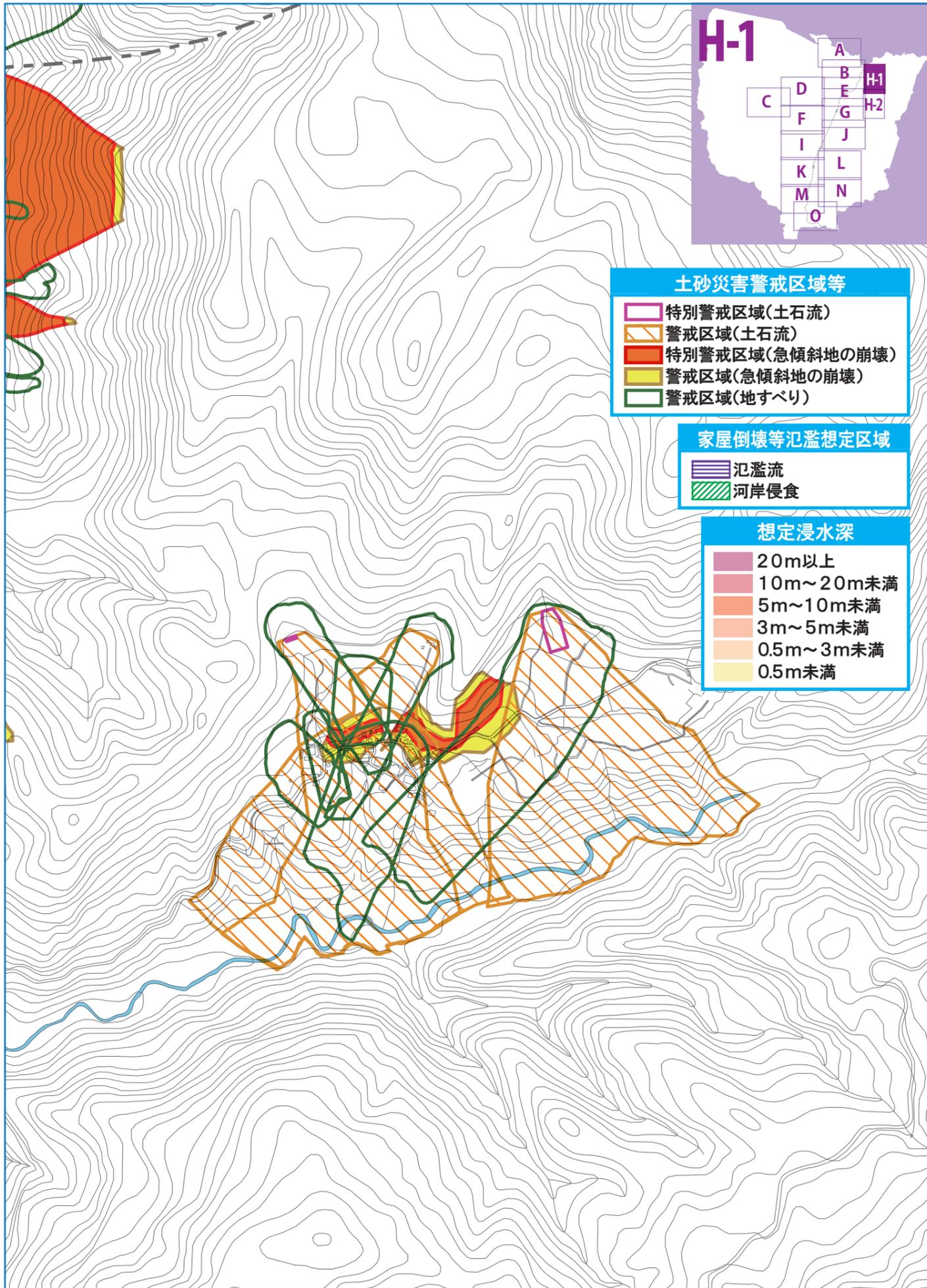
- 想定浸水深**
- 20m以上
  - 10m~20m未満
  - 5m~10m未満
  - 3m~5m未満
  - 0.5m~3m未満
  - 0.5m未満

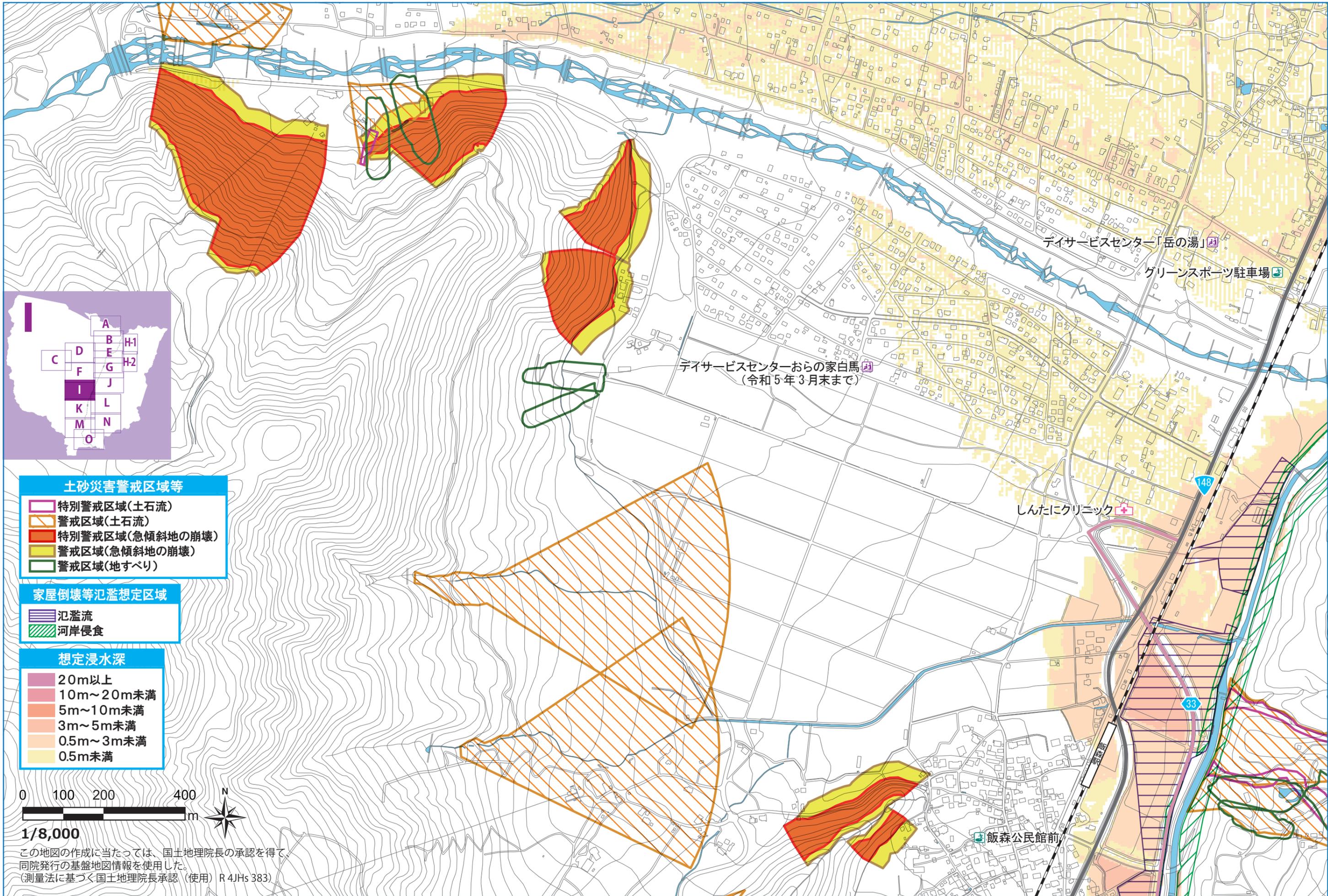


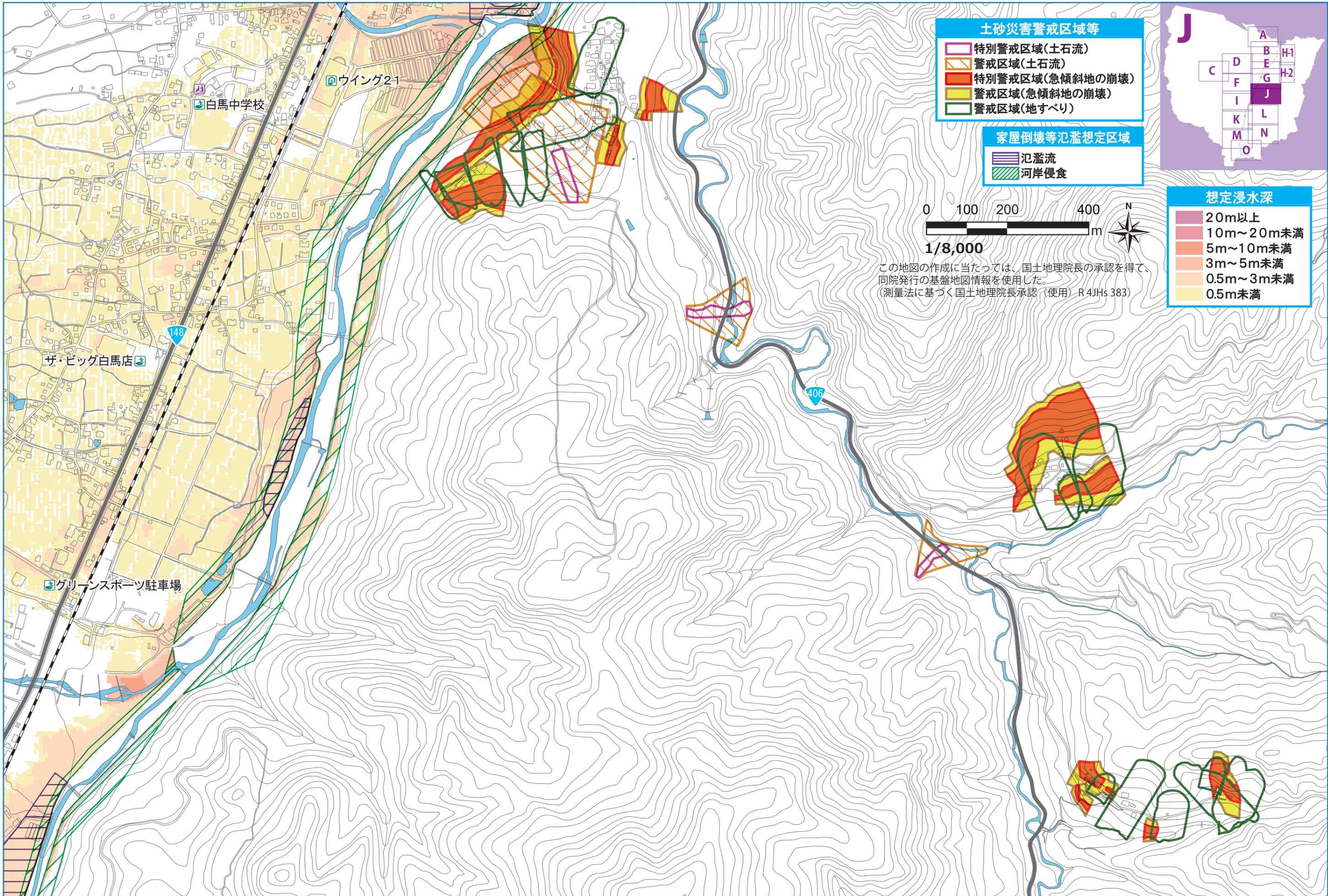
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用(表記)を使用した。  
(測量法に基づき国土地理院長承認)(使用) R 4JHs 383











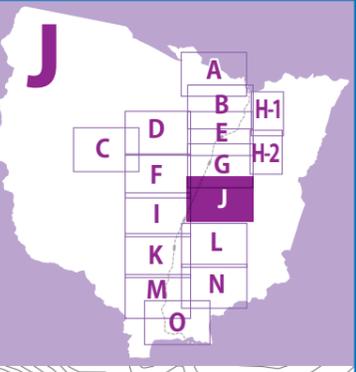
- 土砂災害警戒区域等**
- 特別警戒区域(土石流)
  - 警戒区域(土石流)
  - 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(地すべり)

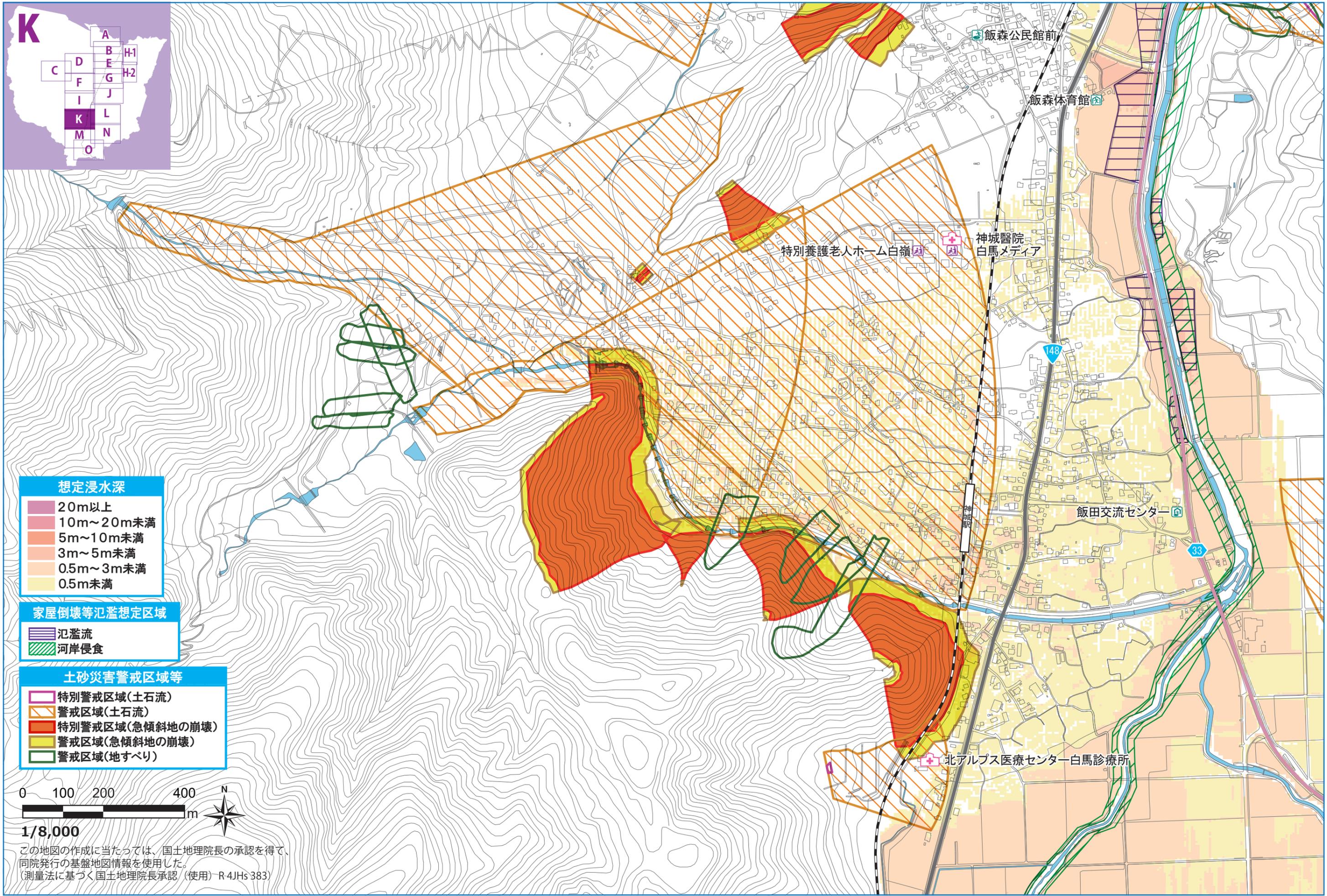
- 家屋倒壊等氾濫想定区域**
- 氾濫流
  - 河岸侵食



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4JHs 383)

- 想定浸水深**
- 20m以上
  - 10m~20m未満
  - 5m~10m未満
  - 3m~5m未満
  - 0.5m~3m未満
  - 0.5m未満





**想定浸水深**

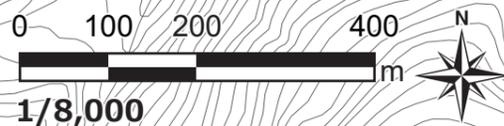
20m以上
10m~20m未満
5m~10m未満
3m~5m未満
0.5m~3m未満
0.5m未満

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

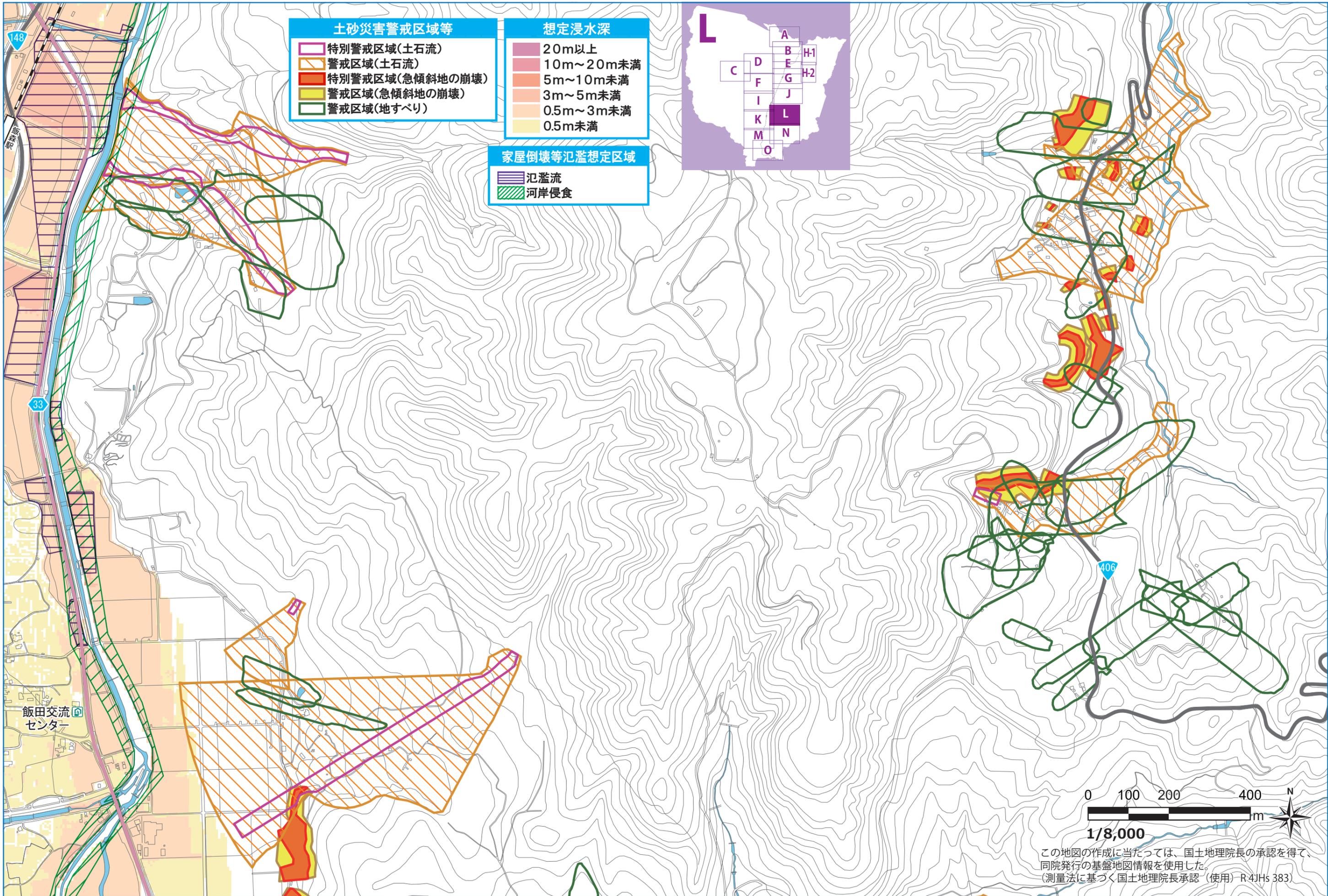
氾濫流
河岸侵食

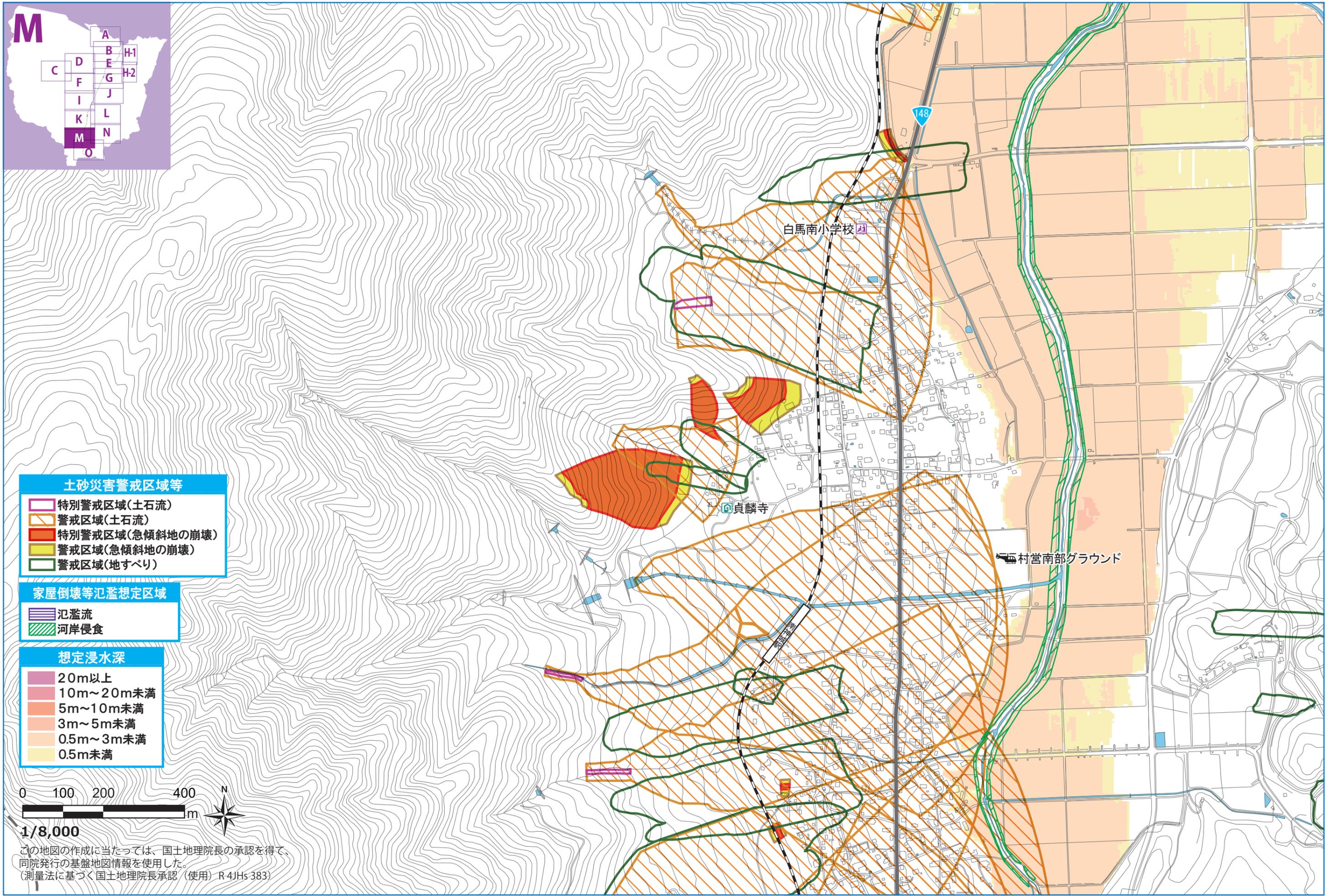
**土砂災害警戒区域等**

特別警戒区域(土石流)
警戒区域(土石流)
特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
警戒区域(急傾斜地の崩壊)
警戒区域(地すべり)



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
(測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R-4JHs 383)





**土砂災害警戒区域等**

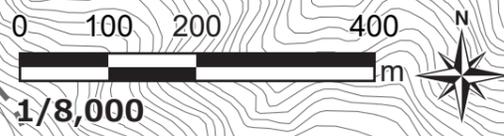
- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

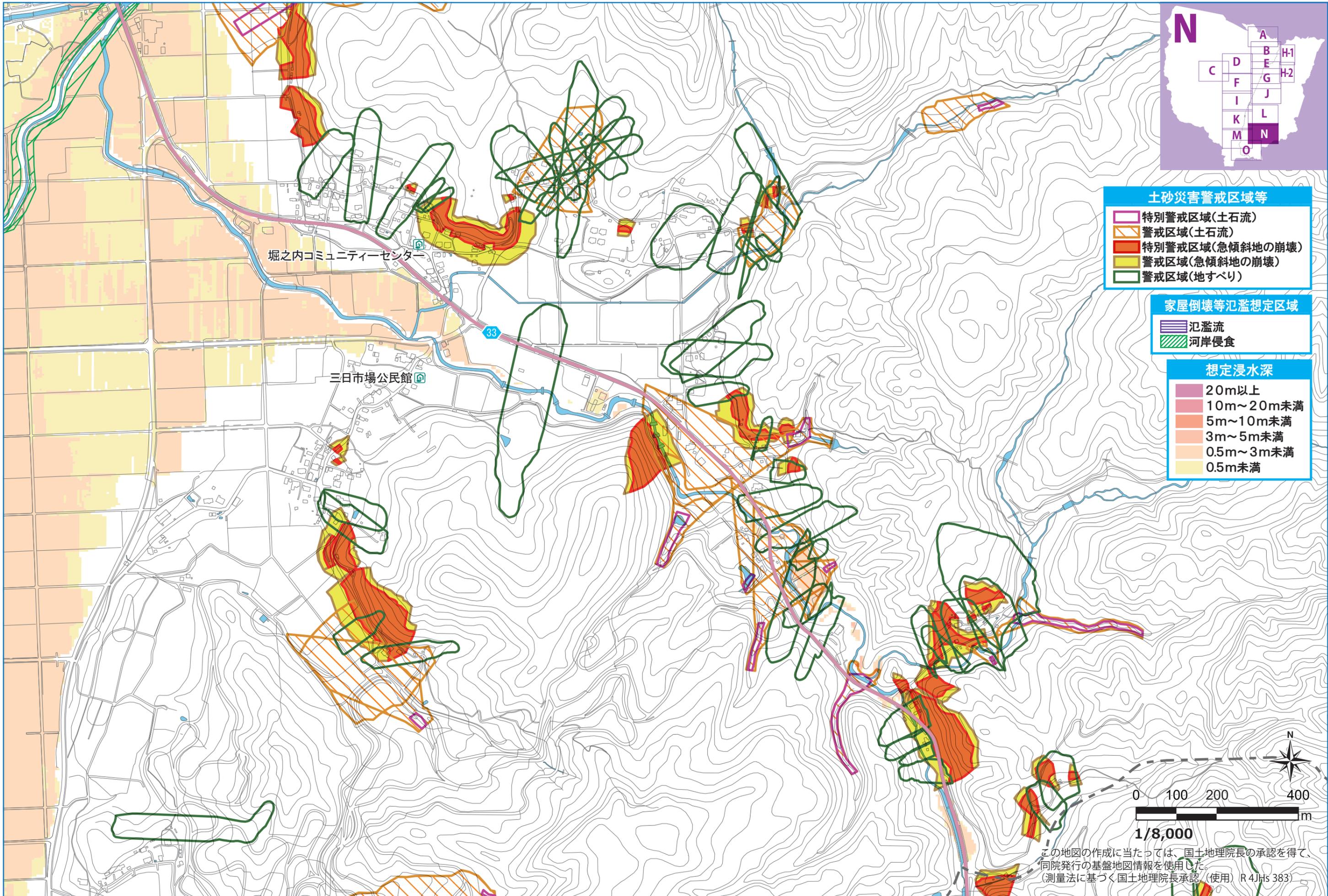
- 氾濫流
- 河岸侵食

**想定浸水深**

- 20m以上
- 10m～20m未満
- 5m～10m未満
- 3m～5m未満
- 0.5m～3m未満
- 0.5m未満



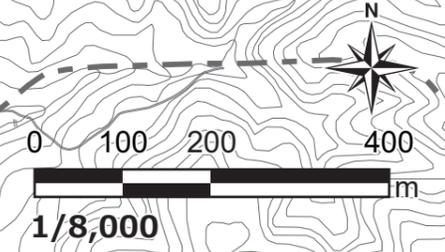
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R4JHs383)



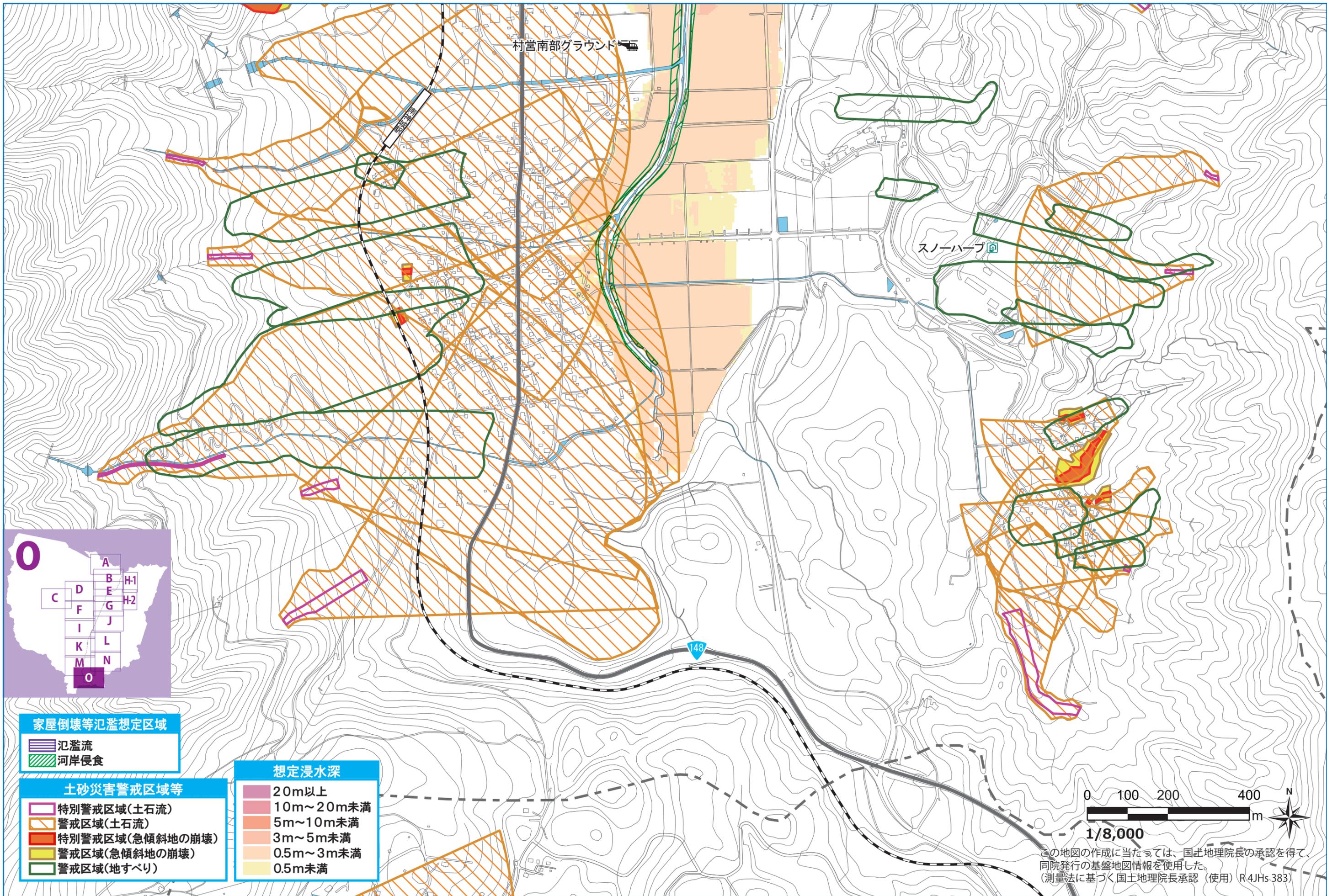
- 土砂災害警戒区域等**
- 特別警戒区域(土石流)
  - 警戒区域(土石流)
  - 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(地すべり)

- 家屋倒壊等氾濫想定区域**
- 氾濫流
  - 河岸侵食

- 想定浸水深**
- 20m以上
  - 10m～20m未満
  - 5m～10m未満
  - 3m～5m未満
  - 0.5m～3m未満
  - 0.5m未満



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R4JHs 383)



家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流
- 河岸侵食

土砂災害警戒区域等

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

想定浸水深

- 20m以上
- 10m~20m未満
- 5m~10m未満
- 3m~5m未満
- 0.5m~3m未満
- 0.5m未満